



BMW Motorrad



Rider's Manual

R 1200 GS

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMW の世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。
世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。
また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要な前提条件になります。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

お問い合わせ

本車両について疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 40 8 406 478



目次

1 一般的な情報	5	4 取扱方法	43	盗難警報装置 (DWA)	77
全体図	6	イグニッションスイッチ /		グリップヒーター	80
記号と意味	6	ステアリングロック	44	フロントおよびリヤシー	
装備	7	Keyless Ride によるイグ		ト	81
テクニカルデータ	7	ニッション	46	5 調整	85
本書の記述について	7	イグニッションキルスイッ		ミラー	86
2 全体図	9	チ	50	ヘッドライト	86
左側面	11	ライト	50	ウインドシールド	87
右側面	13	ハザードランプ	52	クラッチ	87
シート下	14	ウインカー	53	ブレーキ	88
左コンビネーションスイッ		マルチファンクションディ		ハンドルバー	88
チ	15	スプレイ	53	スプリングプリロード	88
右コンビネーションスイッ		アンチロックブレーキシス		ショックアブソーバー	89
チ	17	テム (ABS)	60	6 走行	91
メーターパネル	18	オートマチックスタビリティ		安全に関する注意事項	92
3 表示	19	コントロール (ASC)	62	チェックリストを確認し、	
インジケーター / 警告灯	20	ダイナミックトラクション		遵守する	95
マルチファンクションディ		コントロール (DTC)	63	走行開始のたびに	95
スプレイ	22	電子調整式サスペンション		燃料補給 3 回目ごと	95
ディスプレイの警告記号	23	(D-ESA)	64	始動	95
警告表示	24	走行モード	66	慣らし走行	98
		走行モード PRO	68	オフロード走行	99
		クルーズコントロール	74	ギヤチェンジ	100
		発進アシスタント	76		

ブレーキ	101	クラッチ	134	長期保管	180
駐車する	103	クーラント	134	再使用	181
給油	104	タイヤ	136	11 テクニカルデータ	183
モーターサイクルを搬送用 に固定します	108	リムとタイヤ	136	トラブルシューティン グ	184
7 技術情報	111	ホイール	137	ネジ止め部	185
一般的な情報	112	エアフィルター	143	燃料	187
アンチロックブレーキシス テム (ABS)	112	バルブ	145	エンジンオイル	188
オートマチックスタビリテ ィコントロール (ASC) ...	115	始動補助	150	エンジン	188
ダイナミックトラクション コントロール (DTC)	116	バッテリー	151	クラッチ	189
Dynamic ESA	117	ヒューズ	155	ギヤボックス	190
走行モード	118	診断コネクター	156	リヤホイールドライブ ...	191
シフトアシスト	121	9 アクセサリー	159	フレーム	191
発進アシスタント	122	一般的な情報	160	シャシー	192
8 メインテナンス	125	電源ソケット	160	ブレーキ	194
一般的な情報	126	ケース	161	ホイールとタイヤ	195
ツールキット	126	トップケース	164	電装システム	196
サービスツールキット	126	ナビゲーションシステ ム	171	盗難警報装置	197
フロントホイールスタン ド	127	10 お手入れ	177	寸法	198
エンジンオイル	128	ケア用品	178	重量	200
ブレーキシステム	129	洗車	178	性能	201
		損傷しやすい車両部品のお 手入れ	179		
		塗装のお手入れ	180		
		保護コーティング	180		

12 サービス 203

リサイクリング 204

BMW Motorrad サービス
ス 205

BMW Motorrad モバイル
サービス 206

メンテナンス作業 206

BMW サービス..... 206

メンテナンススケジュール
ル 209

メンテナンスの確認 210

サービスの確認 224

13 付録 227

電子式エンジン始動ロック
システム用認証 228

キーレスエントリー用認
証 230

14 索引 232

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第2章をご覧ください。第12章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味



注意 リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。



警告 リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。



危険 リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。



重要事項 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。



注意事項 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手

入れについての一般的な情報を示します。



注意事項の末尾を示します。



作業内容の指示を示します。



作業の結果を示します。



説明のある参照ページを示します。



アクセサリや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様(諸元)。

LA

国別仕様。

OE	オプション装備。 BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。
OA	アクセサリ。 BMW Motorrad アクセサリのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。
ABS	アンチロックブレーキシステム。
ASC	オートマチックスタビリティコントロール (ASC)。
D-ESA	電子調整式サスペンション。

DTC ダイナミックトラクションコントロール (オプション装備は走行モード Pro との組み合わせでのみ)。

DWA 盗難警報装置

EWS 電子式イモビライザー。

RDC タイヤ空気圧コントロール

装備

BMW モーターサイクルのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択されたアクセサリ (OA) について説明されています。そのため、お客様のモーターサイクルには装着されていない装備に関する説明が含まれている場合が

ありますのでご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。お客様のモーターサイクルに、本書に説明されていない装備が含まれている場合は、独立したマニュアルの中に説明が記載されています。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様異なる場合があります。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異

なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

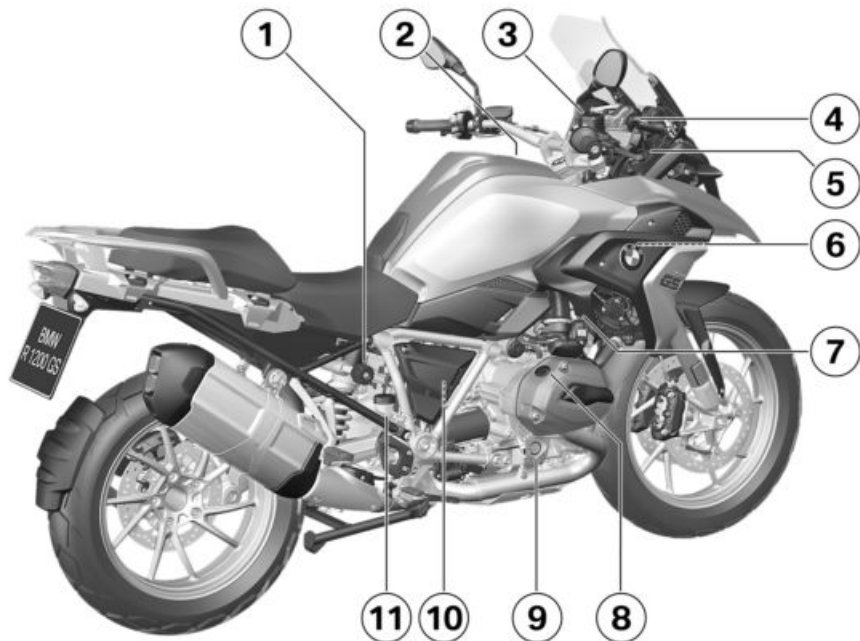
全体図

左側面	11
右側面	13
シート下	14
左コンビネーションスイッチ	15
右コンビネーションスイッチ	17
メーターパネル	18



左側面

- 1 フューエル注入口 (105)
- 2 シートロック (81)
- 3 リヤショックアブソーバー
 の調整 (スプリングスト
 ラット下) (90)

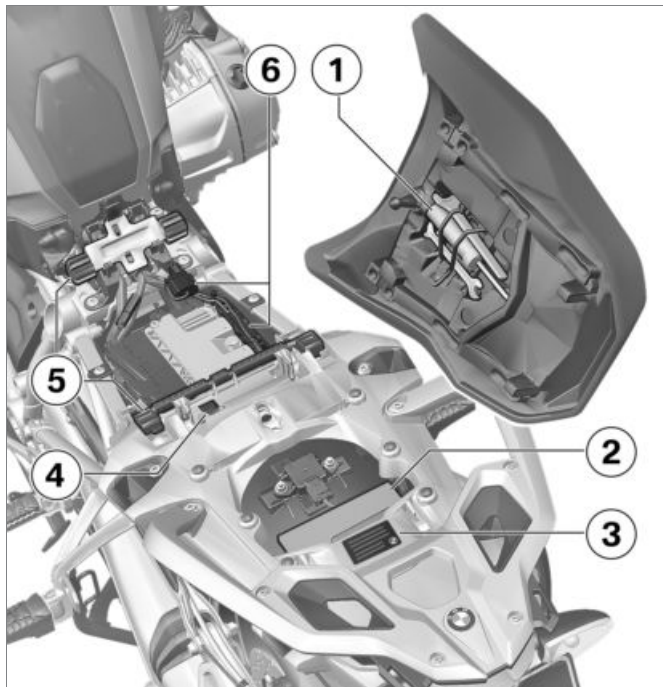


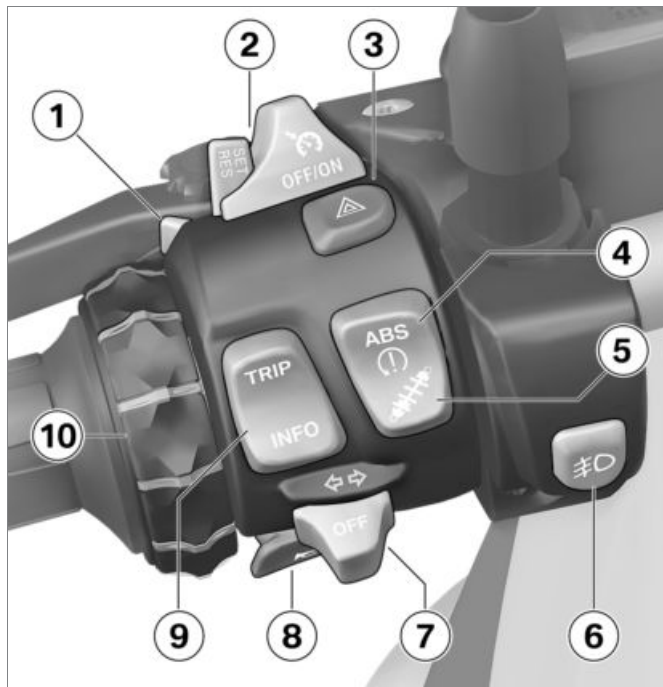
右側面

- 1 - Dynamic ESA^{OE}非装備
リヤスプリングプリロード
の調整 (111 89)。
- 2 エアフィルター (セン
ターフェアリングの下)
(111 143)
- 3 フロントブレーキフルード
リザーバータンク (111 132)
- 4 ウインドシールドの高さ調
整 (111 87)
- 5 電源ソケット (111 160)
- 6 車両識別番号 (ステアリン
グヘッド部分)
型式プレート (右フロント
フレーム)
- 7 クーラントレベル表
示 (111 134)
クーラントタンク (111 135)
- 8 オイル注入口 (111 129)
- 9 エンジンオイルレベル表
示 (111 128)
- 10 サイドトリムパネルの後
方：
バッテリー (111 151)
バッテリープラスターミナ
ル (111 150)
診断コネクタ (111 156)
- 11 リヤブレーキフルードリ
ザーバータンク (111 133)

シート下

- 1 標準スペシャルツールキット (➡ 126)
- 2 Rider's Manual
- 3 タイヤ充填圧表
- 4 積載荷重一覧
- 5 フロントシート高さの設定 (➡ 82)
- 6 ヒューズ (➡ 155)





左コンビネーションスイッチ

- 1 パッシングライトとハイビーム (➡ 51)
- 2 - クルーズコントロール装備^{OE}
クルーズコントロール (➡ 74)。
- 3 ハザードランプ (➡ 52)
- 4 ABS (➡ 60)
ASC (➡ 62)
- 走行モードPro^{OE}装備
DTC (➡ 63)
- 5 - Dynamic ESA^{OE}装備
Dynamic ESA 調整 (➡ 64)
- 6 - LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
LED 補助ヘッドライト (➡ 52)。
- 7 ウィンカー (➡ 53)
- 8 ホーン
- 9 マルチファンクションディスプレイ (➡ 53)

- 10** – ナビゲーションシステム
用取付けキット装備^{OE}
ナビゲーションシステムを
操作する (114 ➡ 172)
Multi-Controller

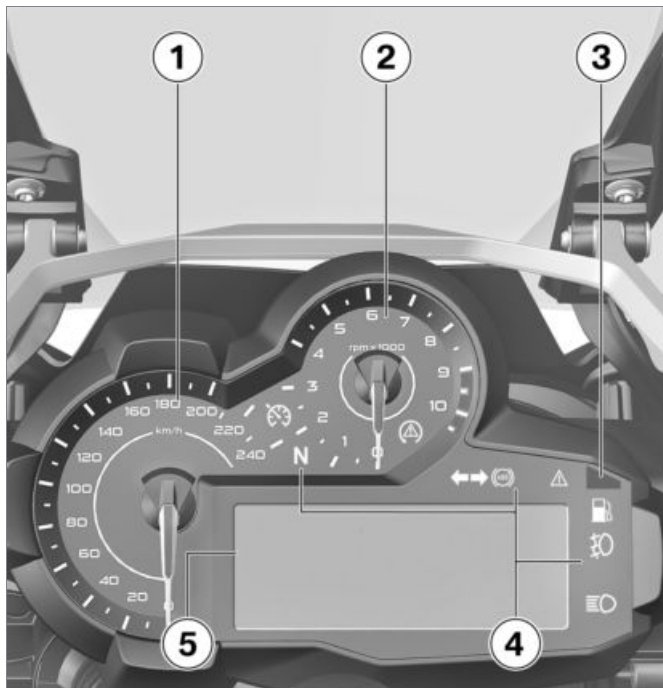
右コンビネーションスイッチ

- 1 ーグリップヒーター装備^{OE}
グリップヒーター (▶▶▶ 80)
- 2 走行モード (▶▶▶ 66)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 50)
- 4 スターターボタン
エンジンを始動する (▶▶▶ 95)。



メーターパネル

- 1 スピードメーター
- 2 エンジン回転数表示
- 3 フォトダイオード (メーターパネルライトの輝度調整用)
- 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}
DWA LED
アラーム信号 (▶▶ 78)
- Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケーター
Keyless Ride によるイグニッション (▶▶ 47)。
- 4 インジケーター / 警告灯 (▶▶ 20)
- 5 マルチファンクションディスプレイ (▶▶ 22)

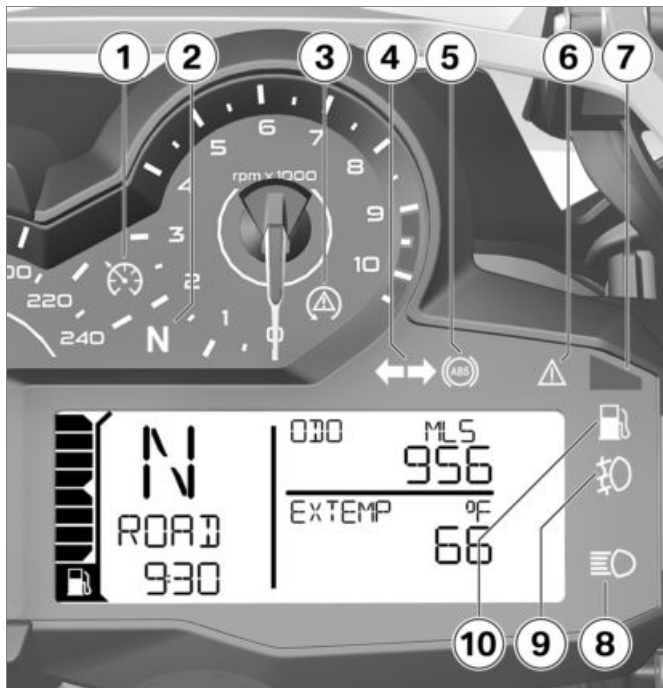


表示

インジケーター / 警告灯	20
マルチファンクションディスプレイ	22
ディスプレイの警告記号	23
警告表示	24

インジケーター / 警告灯

- 1 - クルーズコントロール装置^{OE}
クルーズコントロール (➡ 74)。
- 2 ニュートラル位置 (アイドルリング)
- 3 ASC (➡ 36)
- 走行モードPro^{OE}装置
DTC (➡ 37)
- 4 ウィンカー
- 5 ABS (➡ 36)
- 6 ジェネラル警告灯 (ディスプレイ内の警告マークとの組み合わせによる) (➡ 24)
- 7 - 盗難警報装置 (DWA) 装置^{OE}
アラーム信号 (➡ 78)
- Keyless Ride^{OE} 装置
無線キー用インジケーター
Keyless Ride によるイグニッション (➡ 47)。
- 8 ハイビームヘッドライト (➡ 51)



マルチファンクションディスプレイ

- 1 燃料残量表示
- 2 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 41)
- 3 ギャ表示、ニュートラルの場合には「N」が表示されます。
- 4 - Hill Start Control^{OE} 装備
Hill Start Control の操作 (▶▶▶ 76)。
- 5 オドメーターとトリップメーター (▶▶▶ 53)
- 6 サービス表示 (メイン
テナンスインターバル)
(▶▶▶ 205)
- 7 警告アイコン (▶▶▶ 24)
- 8 オンボードコンピューター
- Dynamic ESA^{OE} 装備
Dynamic ESA 調整 (▶▶▶ 64)
- 9 - グリップヒーター^{OE} 装備
グリップヒーター (▶▶▶ 80)
- 10 走行モード (▶▶▶ 66)
- 11 時計 (▶▶▶ 56)
- 12 路面凍結警告 (▶▶▶ 30)





ディスプレイの警告記号

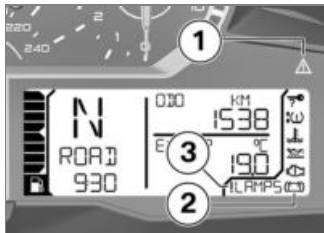
- 1 EWS (▶▶▶ 30)
- 2 冷却水温警告灯 (▶▶▶ 33)
- 3 エンジンオイルレベル (▶▶▶ 32)
- 4 エンジンエレクトロニクス (▶▶▶ 33)
- 5 車両電装システム電圧 (▶▶▶ 31)
- 6 警告 (▶▶▶ 24)

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と、**2** エリアの警告マークまたは **3** エリアの警告マークとの組み合わせにより表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。

ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

警告表示一覧

インジケータ / 警告灯

ディスプレイテキスト

意味



氷結アイコンが表示されます。

路面凍結警告 (▶▶▶ 30)



ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯します。



EWS 警告マークが表示されます。

EWS 作動 (▶▶▶ 30)



ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯します。



無線キーの警告マークが表示されます。

無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 31)



ジェネラル警告灯 (黄/橙) が点灯します。

!KEYLO が表示されます。

無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 31)



ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



ボードエレクトリック電源電圧のアイコンが表示されます。

車両電装システム電圧不足 (▶▶▶ 31)



油差しマークが表示されます。

エンジンオイルレベルが低すぎる (▶▶▶ 32)

OILLVL CHECK が表示されます。

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	 温度マークが表示されます。	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 33)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	 エンジンマークが表示されます。	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 33)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	 エンジンマークが点滅します。	エンジンコントロールの重度の不具合 (▶▶▶ 34)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	!LAMPF、!LAMPR または!LAMPS が表示されます。	バルブの不具合 (▶▶▶ 34)
	!DWALO が表示されます。	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 35)
 ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。	!DWA が表示されます。	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 35)
 ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。		ABS 自己診断が終了していません (▶▶▶ 36)

インジケータ / 警告灯 ディスプレイテキスト 意味

[illegible]

意味

[illegible]

外気温度

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的に「--」が表示されます。



外気温度が 3 °C 以下の場合、路面凍結のおそれがあります。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイ設定の状態にかかわらず自動的に外気温度表示 1 に切り替わり、表示された値が点滅します。



さらに氷結アイコン 2 が表示されます。



警告

3 °C 以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

路面凍結警告



氷結アイコンが表示されます。

考えられる原因:



モーターサイクル付近で測定された外気温度 <

約 3 °C



警告

3 °C 以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

EWS 作動



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



EWS 警告マークが表示されます。

考えられる原因:

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の交信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。

- エマージェンシーキーを使用してください。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーが受信範囲外

- Keyless Ride^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。



無線キーの警告マークが表示されます。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信が妨害されています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリー交換 (▶▶▶ 49)。
- 継続走行にはスペアキーを使用してください。

- Keyless Ride^{OE} 装備

- 無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失 (▶▶▶ 48)。
- 走行中に警告マークが表示されてもご安心ください。走行を継続することは可能で、エンジンはオフにされません。
- 故障した無線キーの交換を BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

無線キーのバッテリーを交換する



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。

!KEYLO が表示されます。

考えられる原因:

- Keyless Ride^{OE} 装備

無線キーのバッテリー容量がフルではありません。無線キーの機能は、限られた時間のみ保証されます。

- 無線キーのバッテリー交換 (▶▶▶ 49)。

車両電装システム電圧不足



ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



ボードエレクトリック電源電圧のアイコンが表示されます。



警告

バッテリーの放電による、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの機能停止事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーを充電できません。走行を続行する際は、車両エレクトロニクスはバッテリーを放電します。



注意事項

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) の

ヒューズが溶断するおそれがあります。◀

考えられる原因:

ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターへのヒューズが溶断している。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

オイルレベル注意



オイルレベル表示 **1** では、エンジンのオイルレベルに関する情報が表示されます。停車しているときのみ、呼び出しができます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンが作動温度に達していること
- エンジンが少なくとも 10 秒間アイドリングしていること
- サイドスタンドが格納されていること

— モーターサイクルが平坦な地面に垂直に立っていること

表示の意味:

OK: オイルレベルは正常です。
CHECK: 次回の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。

---: オイルレベルを測定できません(前述の条件が満たされていません)。



オイルレベルを点検する必要がある場合は、オイルレベルが正常だと検知されるまで、アイコン **2** が表示されます。

エンジンオイルレベルが低すぎる



油差しマークが表示されます。

OILLVL CHECK が表示されます。

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に:

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 128)。

オイルレベルが低すぎる場合:

- エンジンオイルを補充する(▶▶▶ 129)。

オイルレベルが正常な場合:

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。



温度マークが表示されます。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 134)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- エンジンを冷却します。
- クーラントを補充します(▶▶▶ 135)。
- 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。

クーラント温度がより頻繁に高くなりすぎる場合:

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。



エンジンマークが表示されます。



警告

エンジンのエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性 事故の危険

- 走行スタイルを適合させます: 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、エンジン出力またはスロットルレスポンスを低下させる故障を診断しました。エンジンは

エマージェンシーモードで作動しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン出力や回転数域に達しないおそれがあります。

エンジンコントロールの重度の不具合



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



エンジンマークが点滅します。



警告

**エマージェンシーモード時のエンジンの損傷
事故の危険**

- 走行スタイルを状況に合わせて：低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- できれば車両を引き取りにきてもらい、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続けることは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

バルブの不具合



ジェネラル警告灯(黄/橙)が点灯します。

!LAMP... が表示されます。

- !LAMPF: ロービーム、ハイビームヘッドライト、パーキングライトまたはフロントターンインジケーターの故障
- !LAMPF: 加えて: デイライトの故障
- !LAMPR: ブレーキライト、バックライト、リヤターンインジケーターまたはライセンスプレートランプの故障
- !LAMPS: 複数のバルブの故障

警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かれずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

1 個または複数のバルブが故障しています。

- 故障しているバルブを目視点検により特定します。
- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(▶▶▶ 145)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(▶▶▶ 147)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 148)。
- LED テールライトを交換させる(▶▶▶ 149)。

- LED ウインカー装備^{OE}
- LED ウインカーを交換させる(▶▶▶ 149)。

DWA バッテリーが弱っている

- 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}

!DWALO が表示されます。



注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

- 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。

!DWA が表示されます。



注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

考えられる原因:



ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS 故障



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

- 走行モード Pro^{OE} 装備
角速度センサーが損傷しました。ABS Pro 機能は使用できません。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。
- 角速度センサーを損傷しないようにします。

考えられる原因:

- ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。
- 走行を続けることは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別

な状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 113)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS が OFF になっている



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

- ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。
- ABS 機能を ON にする (▶▶ 61)。

ASC 介入

- 走行モード Pro^{OE} 非装備



ASC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。

ASC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター / 警告灯は、ASC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳し

い走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

DTC 介入

ー 走行モードPro^{OE}装備

 DTC インジケータ / 警告灯が素早く点滅します。DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケータ / 警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC 自己診断が終了していない

ー 走行モードPro^{OE}非装備



ASC インジケータ / 警告灯がゆっくりと点滅します。

考えられる原因:



ASC 自己診断が終了していません

自己診断が終了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数 m 走行後、ASC インジケータおよび警告灯は消灯しなければなりません。

ASC インジケータおよび警告灯が点滅し続ける場合:

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

DTC 自己診断が終了していない

ー 走行モードPro^{OE}装備



DTC インジケータ / 警告灯がゆっくり点滅します。

考えられる原因:



DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでDTC 機能を使用できないことに注意してください。

ASC オフ

－ 走行モードPro^{OE}非装備

 ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ASC システムは、ライダーによって OFF にされました。

－ 走行モードPro^{OE}非装備

- ASC 機能を ON にする(▶▶▶ 62)。

DTC が OFF になっている

－ 走行モードPro^{OE}装備

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。

- DTC を ON にする(▶▶▶ 63)。

ASC 故障

－ 走行モードPro^{OE}非装備

 ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC 故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください(▶▶▶ 116)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 故障

－ 走行モードPro^{OE}装備

 DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC の故障を引き起こしうる状況についての、

詳細な情報をご確認ください (116)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

D-ESA の故障



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。

!D-ESA が表示されます。

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。積載荷重モード AUTO では、原因は走行位置アライメント機能の障害である可能性があります。この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があります、特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、

スプリングプリロードの調整が誤っている可能性があります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

燃料がリザーブ容量に達している



燃料残量警告灯が点灯します。



警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順(105)。

フューエルリザーブ容量

燃料警告灯が点灯する際の燃料タンク内にある燃料の量は、走行ダイナミクスによって変化します。燃料が燃料タンク内で激しく揺れるほど (頻繁な傾斜の変化、頻繁なブレーキ操作および加速)、燃料の量を特定することが難しくなります。この理由から、燃料残量を正確に表示することはできません。



燃料残量警告灯の点灯後、航続距離が自動的に表示されます。

このフューエルリザーブ容量で走行できる距離は、走行スタイル (燃費) と警告灯の点灯時点に残っていた燃料の量に左右されます。

燃料補給後にフューエルレベルがフューエルリザーブ容量より高くなっている場合には、フューエルリザーブ容量用の走行距離計はリセットされます。

Hill Start Control ON

– Hill Start Control^{OE} 装備



停止アイコンが表示されません。

考えられる原因:

Hill Start Control (122) は、ライダーによって ON にされました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control の操作(76)。

Hill Start Control が自動的に作動解除

– Hill Start Control^{OE} 装備



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



停止アイコンが短く点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的に作動解除されました。

- サイドスタンドが展開されました。
- » サイドスタンドが展開している場合は、Hill Start Control は OFF の状態です。
- エンジンが停止されました。
- » エンジンが停止している場合は、Hill Start Control は OFF の状態です。
- Hill Start Control が ON の場合は、発進しました。
- Hill Start Control の操作(76)。

Hill Start Control を作動できない

– Hill Start Control^{OE} 装備



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



停止アイコンが短く点滅します。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドを格納します。
- » Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。
- エンジンを始動させます。
- » Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能します。

シフトアップ推奨

シフトアップ推奨は必ずディスプレイ設定で ON にします (■▶ 55)。



シフトアップ推奨 **1** はシフトアップに経済的に最良の時点で信号伝達します。

シフトアップ推奨

 上方向への矢印が表示されます。

考えられる原因:

一段高いギア用の速度または回転数に達しました。

- シフトアップ。

» 矢印は非表示にされます。

ギアが学習されていない

– シフトアシスト Pro^{OE} 装備

 ギア表示が点滅します。
ギアシフトアシスト Pro は機能していません。

考えられる原因:

– シフトアシスト Pro^{OE} 装備

トランスミッションセンサーが学習されていません。

- アイドリングを学習させるためには、ニュートラル位置 N に挿入し、停車した状態でエンジンを少なくとも 10 秒間作動させます。
- クラッチ操作によりすべてのギアを切替え、それぞれのギアで少なくとも 10 秒間走行します。

» トランスミッションセンサーが学習を完了すると、シフト表示は点滅しなくなります。

– トランスミッションセンサーが完全に学習すると、(■▶ 121) に説明されているようにシフトアシスト Pro が機能します。

- 学習プロセスに失敗する場合には、専門の整備工場に修理を依頼してください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

ハザードランプは ON の状態です

 ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

 フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードフラッシャーを OFF にする (■▶ 52)。

サービス表示



次回サービスまでの期間が 1 カ月以内、または次回サービスが 1000 km 以内に実施予定の場合には、サービス時期 **1** および残余走行距離 (km) **2** が Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。

 サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。Service の文字は持続的に表示されます。



注意事項

サービス期日まで 1 ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。

日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

サービス時期を過ぎている



ジェネラル警告灯 (黄 / 橙) が点灯します。

SERVICE が常に表示されます。

考えられる原因:

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック	44
Keyless Ride によるイグニッション	46
イグニッションキルスイッチ	50
ライト	50
ハザードランプ	52
ウインカー	53
マルチファンクションディスプレイ	53
アンチロックブレーキシステム (ABS)	60
オートマチックスタビリティコントロール (ASC)	62
ダイナミックトラクションコントロール (DTC)	63

電子調整式サスペンション (D-ESA)	64
走行モード	66
走行モードPRO	68
クルーズコントロール	74
発進アシスタント	76
盗難警報装置 (DWA)	77
グリップヒーター	80
フロントおよびリヤシート	81

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

キー

イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (➡ 45) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

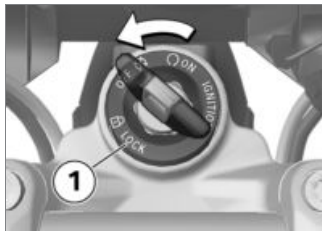
ー ケース OA 装備

ー トップケース装備 OA

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

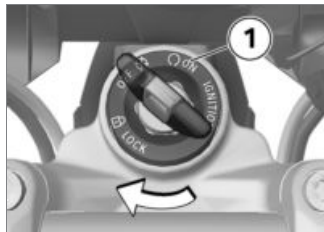
ステアリングロックをロックする

- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 1 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされています。
- » キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする

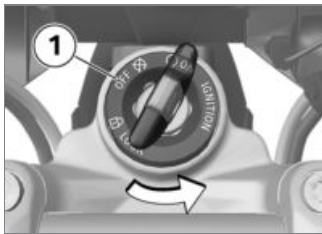


- キーをイグニッションロックに挿入し、ポジション 1 に回します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(➡ 96)
- » ABS 自己診断が実施されます。(➡ 96)
- ー 走行モード Pro^{OE} 非装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(➡ 97) <
- ー 走行モード Pro^{OE} 装備
- » DTC 自己診断が実施されず。(➡ 98) <

ウェルカムライト

- イグニッションを ON にします。
- » スモールライトが短時間点灯します。
- LED 補助ヘッドライト OA 装備
- » LED 補助ヘッドライトが短時間点灯します。◁

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、

場合により故障メッセージを表示します。

- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。
- » キーを抜き取ることができます。

- LED 補助ヘッドライト OA 装備

- イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◁

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。



注意事項

その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

– Keyless Ride^{OE} 装備

キー



注意事項

無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。

無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。

無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー

1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (→ 45) に関する注意事項に従ってください。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。



注意事項

無線キーが手に届く範囲にないと (ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。また、集中ロックシステムをロックする / ロック解除することはできません。

走行可能距離を超過すると、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になり、集中ロックシステムのロックが**行われません**。

無線キーを身に着けておく (ジャケットのポケットなど) か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀



Keyless Ride の走行可能
距離無線キー

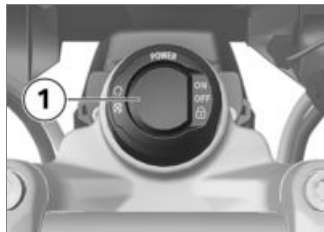
– Keyless Ride^{OE} 装備

約 1 m◀

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。

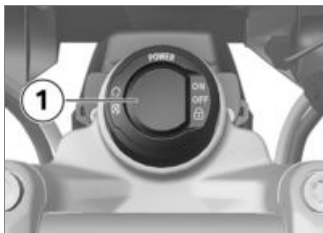


- ボタン 1 を押し続けます。
- » ステアリングロックが音をたててロックします。

- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ハンドルロックを解除するためには、ボタン **1** を短く押します。

イグニッションを ON にする 前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法でオンにすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- LED 補助ヘッドライト ^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 96)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 96)
- 走行モードPro^{OE}非装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 97)◁

バリエーション 2:

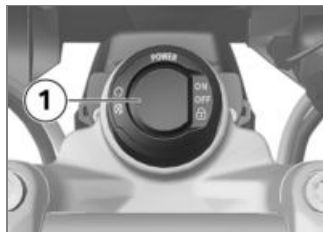
- ステアリングロックがロックされます。ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 96)

- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 96)
- 走行モードPro^{OE}非装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 97)◁

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法でオフにすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルを左に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに内蔵されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。



注意事項

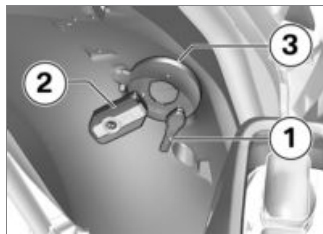
その他の車両キー(スペアキーなど)が始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあります。エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。スペアキーは必ず無線キーとは別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできません。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (**EWS**) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して

車両を始動させることができません。

- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーでリアフェンダーにタッチすることにより、車両をスタートすることができます。
- リアフェンダーのエマージェンシーキー **1** または空の無線キー **2** をアンテナ **3** の高さにあるリアフェンダーに保持します。



注意事項

スペアキーまたは空の無線キーが、リアフェンダーに**しっかりと接して**いなければなりません。◀



エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

» Pre-Ride-Check が実行されます。

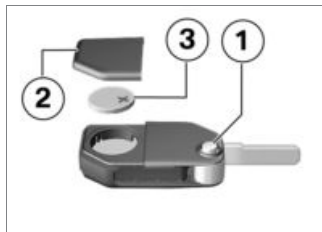
- キーが検知されました。
- エンジンが始動することができます。
- エンジンが始動する(▶▶▶ 95)。

無線キーのバッテリー交換 前提条件

バッテリーが弱くなっているため、無線キーが反応しません。

!KEYLO が表示されます。

- バッテリーを交換します。



- ボタン **1** を押します。
- » 切込み付きキーが開きます。

- バッテリーカバー **2** を押し上げます。
- バッテリー **3** を取り外します。
- 使用済みバッテリーはお住まいの地域の法規にしたがい廃棄処分します。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。



重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリー
コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
- バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀
- 新しいバッテリーをプラス極を上にして入れます。



バッテリータイプ

Keyless Ride 用無線キー



バッテリータイプ

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。
- » メーターパネルで赤色 LED が点滅します。
- » 無線キーは再び機能することができます。

イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ



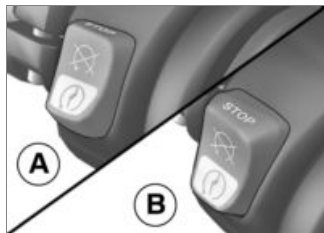
警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



A エンジン停止

B 通常の操作ポジション

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。



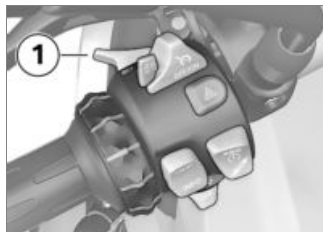
注意事項

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

エンジンの始動後、ロービームは自動的に ON になります。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

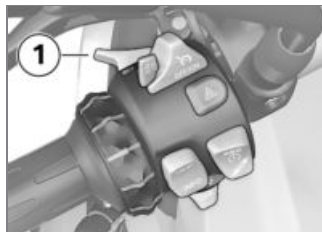
- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォロミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
 » 車両照明は 1 分間点灯し、自動的に再び消灯します。
 - これは、車両を停止した後などに玄関までの道を照らすことができます。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 45)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を押し続けます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

LED 補助ヘッドライト

— LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

前提条件

LED 補助ヘッドライトが作動するのは、ロービームが作動中の場合のみです。



注意事項

補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。◀

- エンジンを始動する(▶▶ 95)。



- ボタン **1** を押し、LED 補助ヘッドライトを ON にします。



LED 補助ヘッドライトのインジケーターが点灯します。

- ボタン **1** を再び操作し、LED 補助ヘッドライトを OFF にします。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



注意事項

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようになしてください。◀

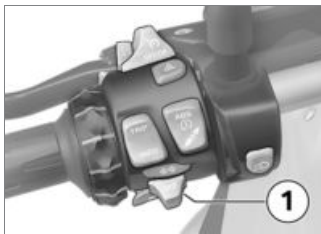


» ジェネラル警告灯とフラッシャーコントロールライトが消灯します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 44)。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押します。

◀▶ フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。



ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。



フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押します。



フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。



ウインカーキャンセル

ウインカーは、一定の走行時間および走行距離に達すると自動的に OFF になります。

- » フラッシャーコントロールライトが消灯します。

マルチファンクションディスプレイ

上の表示を選択する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 44)。



- ボタン **1** を短時間操作し、上側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- ー 総走行距離 (ODO)
- ー トリップメーター 1 (TRIP 1)
- ー トリップメーター 2 (TRIP 2)
- ー 走行可能距離 (RANGE)
- ー SETUP メニュー (SETUP ENTER)、停車時のみ

ー ボードコンピューターPro^{OE} 装備

以下のインフォメーションはオンボードコンピューター Pro と補足として表示されます：

- ー オートマチック走行距離計 (TRIP A)
- ー 瞬間燃料消費量 (CONS C)
- ー 瞬間速度 (SPEED)<

下の表示を選択する



- ボタン **1** を短時間操作し、下側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- ー 外気温度 (EXTMP)
- ー エンジン温度 (ENGTMP)
- ー 平均燃費 1 (CONS 1)
- ー 平均燃費 2 (CONS 2)
- ー 平均速度 (Ø SPEED)
- ー 日付 (DATE)
- ー オイルレベル注意 (OILLVL)
- ー ボードコンピューターPro^{OE} 装備
- ー ボードエレクトリック電源電圧 (VOLTGE)<
- ー ボードコンピューターPro^{OE} 装備
- ー ストップウォッチの合計時間 (ALTIME)<
- ー ボードコンピューターPro^{OE} 装備
- ー ストップウォッチの走行時間 (RDTIME)<

トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 44)。



- ボタン **1** を、リセットするオドメーターとトリップメーターが上部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

平均値をリセットする

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 44)。



- ボタン **1** を、リセット平均値が下部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

機能をコンフィグレーションします

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 44)。



- ボタン **1** を、上側ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短押しします。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。
» ディスプレイの以下の表示は選択した装備に応じて異なります。



- ボタン **1** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にメニューオプションが表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下のメニューオプションを選択することができます：
- － 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}
 - － DWA: 盗難警報装置を ON にする (ON) または OFF にする (OFF) <

- － ナビゲーションシステム用取付けキット装備^{OE}
- － GPS TM: ナビゲーションシステムが取り付けられている場合：GPS 時間およびGPS 日付を適用する (ON) または適用しない (OFF) <
- － CLOCK: 時計の設定
- － DATE: 日付の設定
- － ECOSFT: シフトアップ推奨をディスプレイに表示する (ON) または表示しない (OFF)
- － BRIGHT: ディスプレイ輝度を設定する、ノーマル (0) からブライト (5)
- － EXITSETUP メニューを終了する
- － ボードコンピューターPro^{OE} 装備
- － BC CUSTOM: 表示のパーソナライズをスタートさせる。<



- SETUP メニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン **1** を長く操作します。
- SETUP メニューを任意の個所で終了するには、ボタン **1** を長く操作します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(➡ 44)。



警告

走行中の時計の調整

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- SETUP メニューでメニューオプションSETUP CLOCK を選択します。



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に時間 **3** を点滅させます。



注意事項

クロックディスプレイの代わりに「—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています（例えば、バッテリーの接続が外れたことによる）。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇、もしくはボタン **2** で下降させます。
 - ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に分 **3** を点滅させます。
 - 点滅している値をボタン **1** で上昇、もしくはボタン **2** で下降させます。
 - 分が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定が終了しました。
- 調整を任意の個所で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注意事項

設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

日付設定

- [illegible]



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に日 **3** を点滅させます。



注意事項

日付の代わりに「一.一.一」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています（例えば、バッテリーの接続が外れたことによる）。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇、もしくはボタン **2** で下降させます。
 - ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に月 **3** を点滅させます。
 - 点滅している値をボタン **1** で上昇、もしくはボタン **2** で下降させます。
 - ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に年 **3** を点滅させます。
 - 点滅している値をボタン **1** で上昇、もしくはボタン **2** で下降させます。
 - 年が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定が終了しました。



注意事項

設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

ディスプレイのカスタマイズ — ボードコンピューターPro^{OE} 装 備

- [illegible]



- 個別化メニューを開始するため、ボタン **1** を短時間操作します。
- » SETUP BC CUSTOM が表示されます。
- 個別化メニューを終了するため、ボタン **1** を再び短時間操作します。



注意事項

SETUP BC BASIC が選択されると、初期設定が再度有効になります。パーソナライズCUSTOMは保存されている。◀



- ボタン **1** を長く操作して、最初のメニューオプションを表示します。
- » SETUP BC ODO が表示されます。



- ボタン **2** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
- » 上側ディスプレイ欄 **3** にメニューオプションが表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **4** に設定した値が表示されます。以下の値を調整することができます。
- TOP: 値が上部のディスプレイ欄に表示されます。
- BELOW: 値が下側ディスプレイ欄に表示されます。
- BOTH: 値が上下ディスプレイ欄に表示されます。

- OFF: 値は表示されません。

- ボタン **1** を短時間操作し、設定した値を変更します。

以下のメニューオプションを選択することができます。括弧の中には初期設定が書かれています。メニューオプションの中には、オプション装備品がある場合のみ表示されるものもあります。

- ODO: オドメーター (TOP、設定OFF は不可)
- TRIP 1: トリップメーター 1 (TOP)
- TRIP 2: トリップメーター 2 (TOP)
- TRIP A: 自動トリップメーター (TOP)
- EXTEMP: 外気温度 (BELOW)
- ENGTEMP: エンジン温度 (BELOW)
- RANGE: 走行可能距離 (TOP)
- CONS R: 走行可能距離算出用の平均燃費 (OFF)

- CONS 1: 平均燃費 1 (BELOW)
- CONS 2: 平均燃費 2 (BELOW)
- CONS C: 瞬間燃料消費量 (TOP)
- ØSPEED: 平均速度 (BELOW)
- SPEED: 瞬間速度 (TOP)
- RDC: タイヤ充填圧 (BELOW)
- VOLTGE: ボードエレクトリック電源電圧 (BELOW)
- ALTIME: ストップウォッチの合計時間 (BELOW)
- RDTIME: ストップウォッチの走行時間 (BELOW)
- DATE: 日付 (BELOW)
- SERV T: 次回サービスの日付 (OFF)
- SERV D: 次回サービスまでの残余走行距離 (OFF)
- OILLVL: オイルレベル注意 (BELOW)
- EXIT: パーソナライズメニューを終了する



- パーソナライズメニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン 1 を長く操作します。
 - パーソナライズメニューを任意の個所で終了するには、メニューオプションでボタン 2 を長く操作します。
- » ここまで実行された設定はすべて保存されます。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

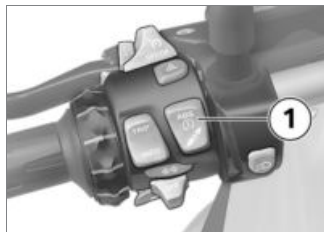
ABS 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



注意事項

ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- ABS インジケータ / 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を操作し続けます。
- » 次に、ASC アイコンの表示が変化します。ABS インジケー

ター / 警告灯が反応するまで、ボタン **1** を操作し続けます。この場合、ASC の設定は変わりません。

 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。

 ABS インジケーター / 警告灯が点灯し続けます。

- » ABS 機能が OFF になります。インテグラル機能は作動しています。

ー Hill Start Control^{OE} 装備

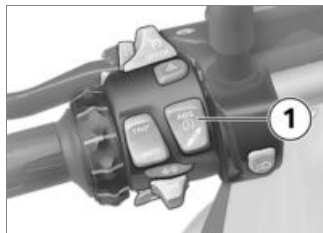
- » Hill Start Control の機能は引き続き作動しています。◁

- BMW Motorrad Integral ABS 装備のブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。

- » パーシャリーインテグラルブレーキ (▶▶ 112)

ー Hill Start Control^{OE} 装備
» 発進アシスタント機能 (▶▶ 122)◁

ABS 機能を ON にする



- ABS インジケーター / 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を操作し続けます。

 ABS インジケーター / 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合には、点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。

 ABS インジケーター / 警告灯が消灯したままか、または点滅し続けます。

- » ABS 機能が ON になります。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることでも可能です。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後に ABS インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。

min 10 km/h

ー 走行モード Pro^{OE} 装備

- コーディングプラグが取り外されている場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。◁

オートマチックスタビリティコントロール(ASC)

ー 走行モードPro^{OE}非装備

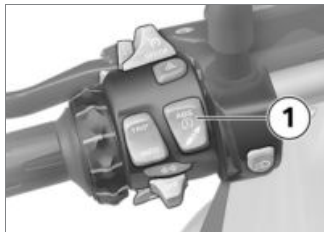
ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



注意事項

ASC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- ASC インジケーター / 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を操作し続けます。



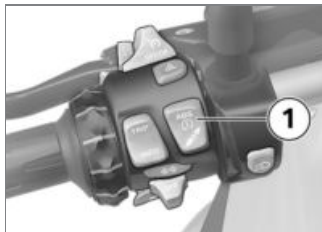
ASC インジケーター / 警告灯が点灯します。



ASC インジケーター / 警告灯が点灯し続けます。

» ASC 機能が OFF になります。

ASC 機能を ON にする



- ASC インジケーター / 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を操作し続けます。



ASC インジケーター / 警告灯が消灯します。自己診断

が終了していない場合には、点滅し始めます。

- ボタン 1 を 2 秒以内に放します。



ASC インジケーター / 警告灯が引き続き消灯するか、点滅し続けます。

» ASC 機能が ON になります。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることでも可能です。



イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後、ASC インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、ASC が故障しています。

min 10 km/h

- BMW Motorrad オートマチックスタビリティコントロール (ASC) に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。

» ASC はどのように作動するのでしょうか？ (115)

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

DTC OFF にする OFF ニスル

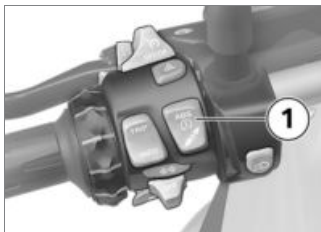
ー 走行モードPro^{OE}装備

- イグニッションを ON にする(44)。



注意事項

DTC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



- DTC コントロールライトの表示が変わるまで、ボタン **1** を操作し続けます。



DTC インジケータ / 警告灯が点灯します。

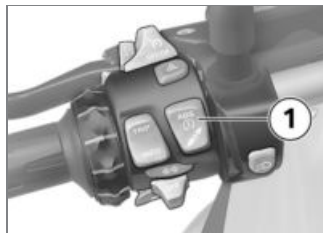
- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



DTC インジケータ / 警告灯が点灯し続けます。

» DTC は OFF の状態です。

DTC を ON にする



- DTC インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押したままにします。



DTC インジケータ / 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合は、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



DTC インジケータ / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

» DTC は ON の状態です。

- コーディングプラグが取り外されている場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。



イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後、DTC インジケータが点灯する場合には、DTC が故障しています。

min 10 km/h

- BMW Motorrad ダイナミックトラクションコントロール (DTC) に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。
- ※ トラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？ (▶▶ 116)

電子調整式サスペンション(D-ESA)

– Dynamic ESA^{OE}装備

Dynamic ESA 調整

電子調整式サスペンション Dynamic ESA は、モーターサイクルを自動で積載荷重に適合させることができます。スプリングプリロードを AUTO に設定すると、ライダーは積載荷重調整を行う必要はありません。

Dynamic ESA に関する詳細な情報については、「技術情報」の章 (▶▶ 117) を参照してください。

利用可能なショックアブソーバーモード

- オンロード走行用: ROAD および DYNA
- オフロード走行用: ENDURO

利用可能な積載荷重設定

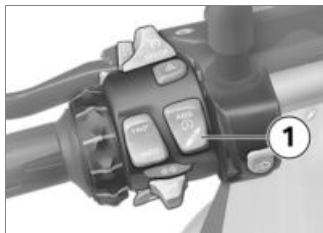
- 固定設定の最小スプリングプリロード: MIN
- スプリングプリロードの自動調整付きアクティブ走行位置アライメント: AUTO
- 固定設定の最大スプリングプリロード: MAX



注意事項

設定 MAX はオフロード走行時のみ使用してください。◀

シャシー設定を表示する



- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。
- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を短時間操作します。



ダンピングはマルチファンクションディスプレイのエリア **1** に表示され、スプリングプリロードはエリア **2** に表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

フレームを調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。ショックアブソーバーを設定するには：
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押します。



注意事項

ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

以下の設定が可能です：

– ROAD: 快適なオンロード走行用ショックアブソーバー

- DYNA: ダイナミックなオンロード走行用ショックアブソーバー
- ENDURO: オフロード走行用ショックアブソーバー。走行モードENDUROまたはENDURO PROでのみ使用可能で、この走行モードでは再度設定することはできません。

スプリングプリロードを設定するには：

- エンジンを始動する(III 95)。
- 現在のフレーム設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押しします。



注意事項

走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀



注意事項

設定 MAX はオフロード走行時のみ使用してください。◀

以下の設定が可能です：

- MIN: 最小スプリングプリロード
- AUTO: スプリングプリロードの自動調整
- MAX: 最大スプリングプリロード

» ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。

» MIN または MAX への設定中は、D-ESA 表示が点滅します。

» 設定後、D-ESA 表示は消えます。

» 積載荷重モード AUTO では、発進してはじめてスプリングプリロードが調整されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルにシナリオを開発しました：

標準装備

- 雨でぬれた路面でのライディング。
- 乾いた路面でのライディング。

- 走行モード Pro^{OE} 装備

走行モード Pro 装備

- 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- ストリートタイヤ装着時のオフロード走行。

走行モード Pro 装備およびコーディングコネクター装着

- ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行。

－ライダーによる設定を考慮した上で、粗い路面用のオフロードタイヤを装着したオフロード走行。

これらのシナリオには、それぞれに最適なスロットルレスポンス、ABS コントロール、ASC/DTC コントロールの組み合わせが用意されています。

－ Dynamic ESA^{OE} 装備

サスペンション調整もまた選択されたシナリオに適合されます。走行モードに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶ 118)。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にする (▶ 44)。



- ボタン 1 を押します。



選択用の矢印 1 および最初に選択可能な走行モード 2 が表示されます。



重要事項

オンロード走行におけるオフロードモードの作動 (Enduro および Enduro Pro)

ABS もしくは ASC/DTC の制御範囲におけるブレーキ操作もしくは加速時に走行状態が不安定となり、転倒する恐れ

- オフロードモード (Enduro および Enduro Pro) はオフロード走行時にのみオンにしてください。◀
- 選択矢印の横に希望する走行モードが表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押します。



注意事項

走行モードEnduro PRO を選択する場合: リアホイールの作動解除されたABS コントロールに注意します。◀

以下の走行モードから選択することができます:

- RAIN: 雨で濡れた路面での走行。
- ROAD: 乾いた路面での走行。
- 走行モードPro^{OE}装備
 - » さらに、以下の走行モードを選択することができます: ◀
- DYNA: 乾いた路面でのダイナミックな走行用。
- Enduro: ストリートタイヤ装着時におけるオフロード走行用。
- 走行モードPro^{OE}装備
 - » コーディングコネクターを取り付けることにより、走行モードDYNA とEnduro は、走行

モードDYNA PRO とEnduro PRO に変わります:◀

- DYNA PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行用。
- Enduro PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、粗い路面用のオフロードタイヤを装着したオフロード走行用。
- » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- » 走行中に新しい走行モードを ON にするには、以下の前提条件が必要です:
- スロットルグリップがアイドル位置にある。
- ブレーキが操作されていない。
- » 新しい走行モードの作動後に、時計は再び表示されます。
- » SETUP MODE で設定した値は常に表示されるわけではなく、表示されるのは連続した一定時

間内の以下の事象後に限られます:

- 走行モードPRO が ON の状態でPre-Ride-Check を行った後毎回。
- 走行モードEnduro PRO への切換え後。
- 走行モードDYNA PRO への切換え後。
- » エンジン特性曲線、ABS、ASC/DTC、Dynamic ESA について適切に調整が行われ、設定された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

走行モードPRO

- 走行モードPro^{OE}装備

SETUP MODE 始動

- コーディングプラグを取り付ける(➡ 73)。
- イグニッションを ON にする(➡ 44)。

はENDURO PRO **3** に設定します。

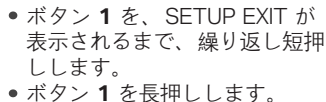
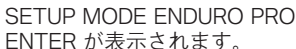
- ボタン **1** を短時間押します。
» SETUP ABS が表示されます。
- ボタン **4** を短時間操作し、ABS をENDURO またはENDURO PRO **3** に設定します。
- ボタン **1** を短時間押します。
» SETUP ENGINE が表示されます。
- ボタン **4** を短時間操作し、ENGINE をRAIN、ROAD またはDYNA に設定します。
- ボタン **1** を短時間押します。
» SETUP MODE RESET が表示されます。



- 設定を維持するため、ボタン **1** を短時間押します。
» SETUP MODE EXIT が表示されます。
- またはその代わりにボタン **4** を長押しし、全てのパラメーターをリセットします。
» 走行モードEnduro PRO の初期設定が引き継がれます:
 - DTC: ENDURO PRO
 - ABS: ENDURO PRO
 - ENGINE: ROAD
- » RESET は 3 回点滅します。
- » SETUP MODE EXIT が表示されます。



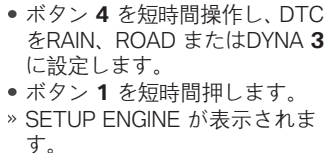
- 設定の初めにリセットするため、ボタン **1** を短時間押します。
» SETUP DTC が表示されます。
- またはその代わりにボタン **4** を長押しし、SETUP MODE を終了します。



» オンボードコンピューターが表示されます。

－ 走行モードPro^{OE}装備

- SETUP MODE 始動(■→ 68)。
 » SETUP DTC が表示されます。

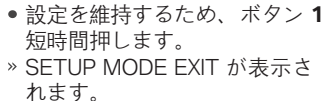


- ボタン **4** を短時間操作し、ENGINE をRAIN、ROAD またはDYNA に設定します。
- ボタン **1** を短時間押します。



ABS は走行モード Enduro PRO
でのみ設定可能です。◀

» SETUP MODE RESET が表示
されます。



- またはその代わりにボタン **4** を長押しし、全てのパラメーターをリセットします。
- » 走行モードDYNA PRO の初期設定が引き継がれます:
- DTC: DYNA
- ENGINE: DYNA
- » RESET は 3 回点滅します。
- » SETUP MODE EXIT が表示されます。



- 設定の初めにリセットするため、ボタン **1** を短時間押します。
- » SETUP DTC が表示されます。

- またはその代わりにボタン **4** を長押しし、SETUP MODE を終了します。
- SETUP MODE DYNA PRO
ENTER が表示されます。



- ボタン **1** を、SETUP EXIT が表示されるまで、繰り返し短押しします。
- ボタン **1** を長押しします。
- » オンボードコンピューターが表示されます。

RDC をオフロードモードで OFF にする

前提条件

チャージ圧を低減させたオフロード走行をする必要があります。

前提条件

RDC 警告をオフにするために、両方の走行モードENDURO またはENDURO PRO のいずれかが設定された。

- イグニッションを ON にする(➡ 44)。



- ボタン **1** を、上側ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表

示されるまで、繰り返し短押しします。

- ボタン **1** を長く操作して、**SETUP** メニューをスタートさせます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプション **RDC** を選択します。
- » 上側ディスプレイ欄 **2** に **RDC** と表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
- ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。

» **RDC Enduro** に以下の設定が可能です：

ON: **RDC** 用ディスプレイ警告マークが表示されなくなります。許容範囲外にあるチャージ圧だけが表示されます。

 **OFF:** **RDC** 用ディスプレイ警告マークが表示され、さらに、許容範囲外にあるチャージ圧が表示されます。

コーディングプラグを取り付ける

- イグニッションスイッチを **OFF** にする(➡ 45)。
- フロントシートを取り外す(➡ 82)。



重要事項

空いているコネクタに汚れや水分が入り込む
機能障害

- コーディングプラグを外した後、保護キャップを再び組み込みます。◀
- コネクタ **1** の保護キャップを外します。



- その際はロック **1** を押しこみ、シーリングキャップを抜き取ります。
- コーディングプラグを差し込みます。
- イグニッションを ON にします。



注意事項

コーディングプラグが差し込まれている状態では、非作動の走行安全システムはイグニッションの ON / OFF 後も非作動であり続けます。◀



コーディングコネクタのアイコン **1** がディスプレイに表示されます。走行モード **2** Enduro PRO と DYNA PRO は選択可能で走行モード Enduro と DYNA から変更されます。

- フロントシートを取り付ける(➡ 83)。

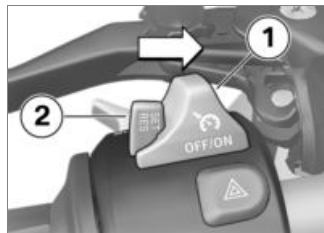
クルーズコントロール

ー クルーズコントロール装備^{OE}

クルーズコントロールを ON にする

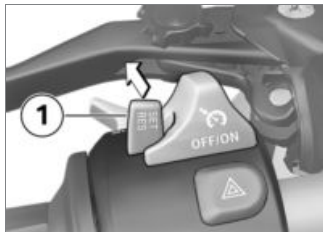
前提条件

走行モード Enduro または Enduro Pro をオフにして初めて、クルーズコントロールが使用可能になります。



- スイッチ **1** を右方向へずらしします。
- » ボタン **2** を操作することができます。

車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。



クルーズコントロールの調整範囲（ギアに応じて異なる）

20...210 km/h



クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。
 - » 操作ごとに速度が約 2 km/h づつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に加速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短時間押します。
 - » 操作ごとに速度が約 2 km/h づつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に減速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ（スロットル

を基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる) を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

- » クルーズコントロール用表示灯が消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン 1 を短時間後方へ押し、再び、メモリーされている車速にします。



注意事項

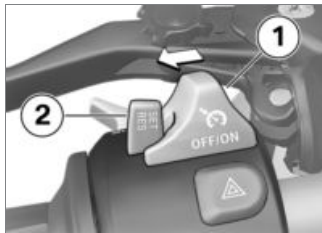
スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度

以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀



クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

クルーズコントロールをOFFにする



- スイッチ 1 を左方向へずらし
ます。
» システムが OFF になります。
» ボタン 2 が機能していません。

発進アシスタント

– Hill Start Control^{OE} 装備

Hill Start Control の操作

前提条件

車両を立てます。



重要事項

エンジンまたはイグニッション OFF、サイドスタンドの展開、時間超過(約 20 分) または故障時

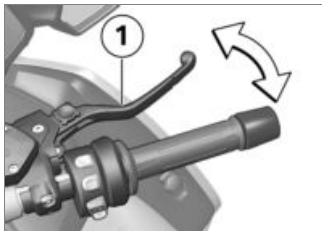
Hill Start Control のブレーキ機能停止

- 車両を必ず手動ブレーキで固定します。◀



注意事項

発進アシストHill Start Control は登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。◀



- パーキングブレーキレバー **1** を強く握り、再び放します。

停止アイコンが表示されます。

- » Hill Start Control は作動しています。
- Hill Start Control をオフにするには、ブレーキレバー **1** を再度握ります。

停止アイコンが非表示になります。

- またはその代わりに 1 速ギアまたは 2 速ギアで発進します。



注意事項

発進時にHill Start Control は自動的に作動解除されます。◀



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



停止アイコンが短く点滅します。



ブレーキを完全に開放した後、停止アイコンが非表示になります。

» Hill Start Control は OFF の状態です。

- Hill Start Control に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。

» 発進アシスタント機能 (▶▶ 122)

盗難警報装置(DWA)

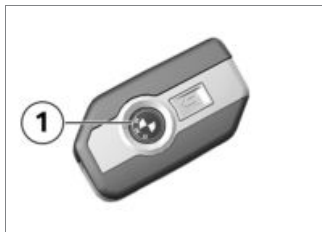
– 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}

作動

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。
- 盗難防止装置の適合(▶▶ 80)。
- イグニッションを OFF にします。
- » DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA はオンの状態です。

1

- イグニッションを OFF にします。
- 無線キーのボタン **1** を 2 回押します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA はオンの状態です。



- モーションセンサーをオフにするには(モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン **1** をオンになる間に再度押します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。
- » 確認音が 3 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » モーションセンサーはオフの状態です。

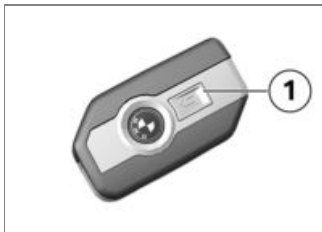
DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによりイグニッションが ON に
- DWA を車両バッテリーから取り外す (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ウィンカーの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorradディーラーで調整することができます。

－ Keyless Ride^{OE} 装備



作動したアラームは、DWA をオフにすることなく、無線キーのボタン **1** でいつでも中断することができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号：

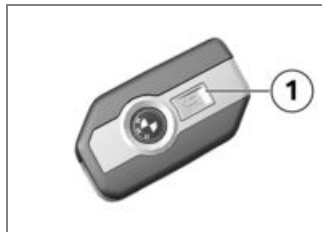
- － 1 回点滅：モーションセンサー 1

- － 2 回点滅：モーションセンサー 2
- － 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- － 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- － 5 回点滅：モーションセンサー 3

作動解除

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- イグニッションを ON にします。
 - » ウインカーが 1 回点灯します。
 - » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
 - » DWA は OFF の状態です。

－ Keyless Ride^{OE} 装備



- 無線キーのボタン **1** を 1 回押します。



注意事項

アラーム機能がリモートコントロールを介して OFF になり、そのままイグニッションが ON にされない場合、「イグニッション OFF 後に ON の状態にする」がプログラミングされていると、アラーム機能は 30 秒後に自動的に再び ON の状態になります。◀

- » ウインカーが 1 回点灯します。

- » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。

盗難防止装置の適合

- イグニッションを ON にする(▶▶ 44)。



- ボタン **1** を、上側ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短押しします。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプションDWA を選択します。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にDWA と表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下の設定が可能です：
- ON: DWA は ON の状態、またはイグニッション OFF の後に自動的に ON になります。
 - OFF: DWA は OFF の状態です。

グリップヒーター

ー グリップヒーター装備OE

グリップヒーターの操作

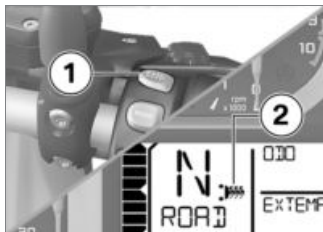
注意事項

低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを開始する(▶▶ 95)。

注意事項

グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀



- ボタン **1** を、ご希望のヒーターレベル **2** が表示されるまで繰り返し押します。

グリップを 2 段階で暖めることができます。



ヒーター出力 50%



ヒーター出力 100%

» 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **2** がディスプレイに表示されなくなるまで押します。

フロントおよびリヤシート リヤシートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロック **1** を車両キーを使用して右へ回して保ちます。その際、リヤシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。
- リヤシート前部を持ち上げ、キーを放します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける

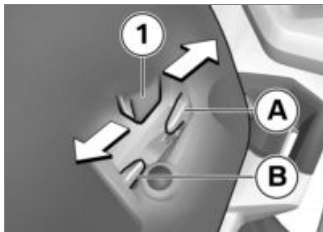


重要事項

コンポーネントの損傷

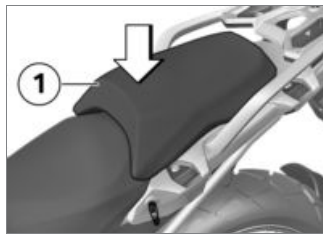
センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀



- リアシートの調整方向はライダーシートポジションに応じて考慮します。
- リアシートは 2 種類のシート位置に設定することができます。
- 両シャックル **1** を用いて、リアシートをホルダーの中央にあてます。

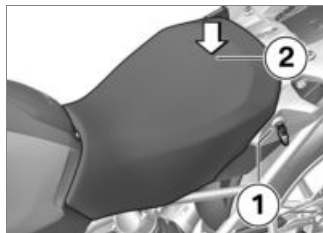
- リアシートの後ろ側位置：リアシートを後方 **A** に押します。
- リアシートの前側位置：リアシートを前方 **B** に押します。
- » リアシートのタブ **1** が正しく固定されます。



- リアシート **1** 前部を力を込めて押し下げます。
- » リアシートが音をたててかみ合います。

フロントシートを取り外す

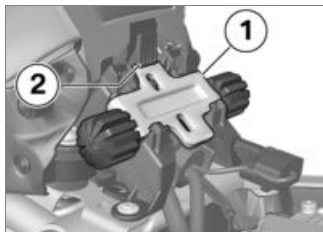
- リアシートを取り外す(▶ 81)。



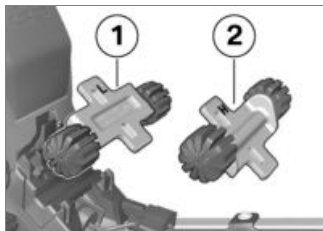
- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保ちます。その際、ライダーシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。
- ライダーシート後部を持ち上げ、キーを放します。
- ライダーシートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシート高さや傾きの調整

- フロントシートを取り外す(▶ 82)。



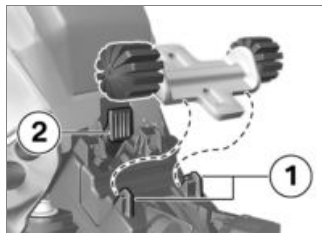
- フロントの高さ調整 **1** を取り外すには、ロック **2** を前方へ押し、高さ調整を上方へ取り外します。



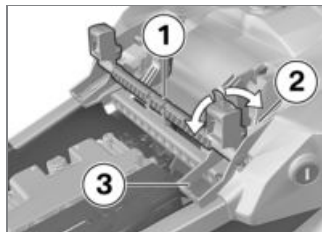
- 低いシート位置を調整するには、フロントの高さ調整を **1**

の位置に取り付けます (識別ラベル L)。

- 高いシート位置を調整するには、フロントの高さ調整を **2** の位置に取り付けます (識別ラベル H)。



- フロントの高さ調整をまずホルダー **1** の下にスライドさせ、引き続きロック **2** をはまる音がするまで押し込みます。



- 低いシート位置を調整するには、リアの高さ調整 **1** を **3** の位置に動かします (識別ラベル L)。
- 高いシート位置を調整するには、リアの高さ調整 **1** を **2** の位置に動かします (識別ラベル H)。

シート傾きを変更する場合:

- フロントとリアの高さ調整を様々に位置決めします。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(81)。

-

- ライダーシートを左右のホルダー **1** にセットし、モーターサイクルにゆったりと置きます。
- ライダーシートの後部を、前方へ押した後に、ロックがはまる音がするまで力強く下方へ押しします。

調整

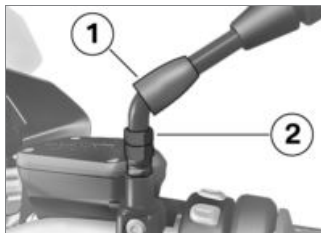
ミラー	86
ヘッドライト	86
ウインドシールド	87
クラッチ	87
ブレーキ	88
ハンドルバー	88
スプリングプリロード	88
ショックアブソーバー	89

ミラー ミラーを調整する



- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。



ミラー(ロックナット)
とアダプター

22 Nm (左ねじ)

- 保護キャップ **1** をボルトの上へずらします。

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。



注意事項

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

光軸を調整する



負荷が非常に高い場合には、対向車の目をくらませないように、スプリングプリロードを適切に調整することができません。

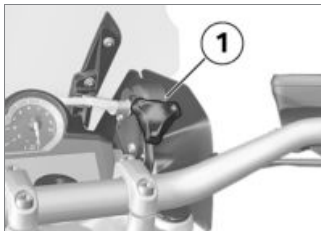
- アジャストノブ 1 を反時計回りに回して、ヘッドライトを下げます。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する



警告

走行中のウインドシールドの調整 転倒の危険

- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- アジャストノブ 1 を時計回りに回して、ウインドシールドを下げます。
- アジャストノブ 1 を反時計回りに回して、ウインドシールドを上げます。

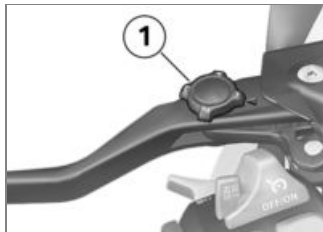
クラッチ

クラッチレバーを調整する

警告

走行中のクラッチレバーの調整 事故の危険

- クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール 1 をご希望の位置に回します。



注意事項

その際、クラッチレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

※ 4 種類の設定が可能です：

- ポジション 1: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- ポジション 4: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ブレーキ

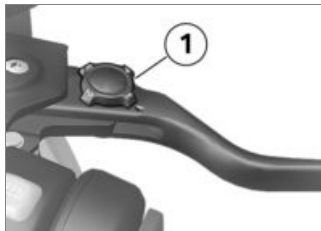
ブレーキレバーを調整する



警告

**走行中のブレーキレバーの調整
事故の危険**

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。



注意事項

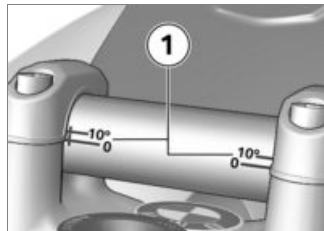
その際、ブレーキレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

※ 4 種類の設定が可能です：

- ポジション 1: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
- ポジション 4: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

ハンドルバー

調整式ハンドルバー



ハンドルバーはマーク **1** の領域で傾きを調整することができます。

BMW Motorrad ディーラーにハンドルバーの調整を依頼してください。

スプリングプリロード

- Dynamic ESA^{OE}非装備

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する(リヤホイール)



警告

走行中のスプリングプリロードの調整。

事故の危険

- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀
- スプリングプリロードを高めるためには、アジャストノブ 1 を矢印方向に従ってHIGH へ回します。
- スプリングプリロードを低めるためには、アジャストノブ 1

を矢印方向に従ってLOW へ回します。



リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回す。(1 名乗車 + 荷物積載なし)

アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回してから、15 回転分 HIGH 方向に回す。(1 名乗車 + 荷物積載)

アジャストノブをストップ位置まで LOW 方向に回してから、30 回転分 HIGH 方向に回す。(2 名乗車 + 荷物積載)

ショックアブソーバー

– Dynamic ESA^{OE}非装備

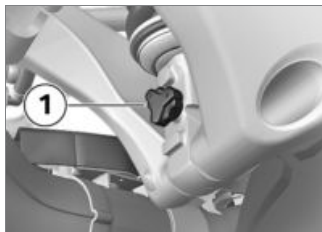
調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

- ー 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- ー スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する(リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ショックアブソーバーの設定を車両の左側面から実行します。



- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、8回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(1名乗車 + 荷物積載なし)

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(1名乗車 + 荷物積載)

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2回カチッという音がするまで反時計回りに回す。(積載荷重を伴う2名乗車)

走行

安全に関する注意事項.....	92
チェックリストを確認し、遵守する.....	95
走行開始のたびに	95
燃料補給 3 回目ごと.....	95
始動	95
慣らし走行	98
オフロード走行.....	99
ギヤチェンジ	100
ブレーキ.....	101
駐車する.....	103
給油	104
モーターサイクルを搬送用に固定します	108

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない
でモーターサイクルに乗ることは、
極めて危険です。次のアイテムを、
必ず装着 / 着用してください。

- － ヘルメット
- － ライディングスーツ
- － グローブ
- － ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな
ければなりません。BMW Motorrad デ
ィーラーは喜んでご相談に応じます。
また、それぞれの目的に合わせた、
適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

- － ロードダウン装備OE

ロードダウンシャシー仕様のモ
ーターサイクルの場合、標準シャ
シー仕様のモーターサイクルと比
べて、バンク角度が小さくなり、
最低地上高も低くなります。



警告

**ロードダウン仕様のモーターサイ
クルでコーナリングを行う場合
に、車両部分を通常より早めに
起こすことができます。**

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意
深く確認し、走行スタイルをそ
れに合わせて調整してくださ
い。◀

危険のない状況で、ご使用のモ
ーターサイクルの許容バンク角を
点検してください。縁石の角や
障害物などを乗り越えるとき
には、車両の最低地上高が低く制
限されていることを考慮に入れ
てください。

モーターサイクルをロードダウン
仕様にすることにより、スプリ
ングトラベルは短くなります(「テ
クニカルデータ」の章を参照)。
それまでの走行快適性も制限さ
れる可能性があります。タンデ
ム走行においては専用スプリ
ングプリロードを調整する必要
があります。

荷物の積み込み



警告

**積載超過や不均等な積載により、
走行安定性が損なわれる**

転倒の危険

- 許容総重量を超えないよう
にし、積載に関する注意をお守
りください。◀
- スプリングプリロードおよび
ショックアブソーバーの設定を
車両重量に合わせて調整しま
す。

- ケースOA 装備
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリ」の章も参照)。◁
- トップケース装備OA
- トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください(「アクセサリ」の章も参照)。◁
- タンクバッグ装備OA
- タンクバッグの最大容量に注意してください。



タンクバッグの積載容量

max 5 kg<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗
- その他

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度



危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回っている

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険

- タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合には、これらのタイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。

許容最高速度を記したステッカーを、メーターパネルの見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険



注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイヤによる未燃焼燃料がキャタライザーに流入する場合、異常過熱および損傷が発生する恐れがあります。

以下の基準を守ってください：

- － フューエルタンクが空の状態で行かない。
- － スパークプラグコネクタを外したままエンジンを作動させない。
- － ミスファイアが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる。
- － 無鉛ガソリンのみを使用する。
- － 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。



重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料
触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート



重要事項

長時間のアイドリング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造



重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)
関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検する(1134)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(1136)。
- タイヤ充填圧を点検する(1136)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

燃料補給 3 回目ごと

- Dynamic ESA^{OE}非装備
- リヤスプリングプリロードの調整(1189)。
- ショックアブソーバーを調整する(リヤホイール) (1190)。◀
- Dynamic ESA^{OE}装備
- フレームを調整する(1165)。◀
- エンジンオイルレベルを点検する(1128)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します(1130)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します(1131)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(1132)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(1133)。
- クーラントレベルを点検します(1134)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(1196)
- » ABS 自己診断が実施されます。(1196)
- 走行モードPro^{OE}非装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(1197)◀
- 走行モードPro^{OE}装備
- » DTC 自己診断が実施されます。(1198)◀
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。



注意事項

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出し

た状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きます。



- スターターボタン **1** を押します。
- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶ 184)

始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください：

- 接続しているバッテリーを充電する(▶▶ 152)。
- 始動補助(▶▶ 150)。



注意事項

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。◀

Pre-Ride-Check

イグニッションをオンにした後、メーターパネルにより表示灯および警告灯のテスト「Pre-Ride-Check」が実行されます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべての表示灯および警告灯がオンになります。

ステップ 2

ジェネラル警告灯が赤色から黄色に変わります。

ステップ 3

点灯した表示灯および警告灯が、逆の順序で次々に消灯します。

表示灯および警告灯の一つが点灯しない場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

ステップ 2

» 発進時のホイール回転数センサーの点検。



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

» ABS 表示灯 / 警告灯が消灯します。



ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合:

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能もインテグラル

機能も使用できないことに注意してください。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

ー 走行モード Pro^{OE} 非装備

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

ステップ 2

» 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。



ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

ASC 自己診断が終了

» ASC 表示灯 / 警告灯が消灯します。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。



ASC 自己診断が終了していません

自己診断が終了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: min 5 km/h)

ASC 自己診断の終了後に、ASC の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

ー 走行モードPro^{OE}装備

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



DTC インジケータ / 警告灯がゆっくり点滅します。

ステップ 2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。



DTC インジケータ / 警告灯がゆっくり点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

- » DTC アイコンが表示されなくなります。
- すべてのインジケータ / 警告灯の表示に注意してください。



DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません： min 5 km/h)

DTC 自己診断の終了後に、DTC の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。

 慣らし走行中のエンジン回転数
<5000 min ⁻¹ (走行距離 0...1000 km)
フルロードなし (走行距離 0...1000 km)
慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。
 慣らし運転までの走行距離
500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

オフロード走行

オフロード走行用ホイールリム



重要事項

未舗装道路走行を上回るオフロード走行

標準アルミリムの損傷

- 激しいオフロード走行では、オプションで提供しているクロスポークホイールを使用してください。◀

オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします：

タイヤ充填圧



警告

オフロード走行用に低下させた
タイヤ空気圧で舗装路を走行
走行特性の悪化により事故を起
こす危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認し
てください。◀

ブレーキ



警告

未舗装路または汚れた道路での
走行

ブレーキディスクとブレーキパ
ッドの汚れによるブレーキ作用の
遅延

- ブレーキの汚れが落ちるまで、
早めにブレーキをかけてくださ
い。◀



重要事項

未舗装または汚れた道路での走行

ブレーキパッド摩耗の助長

- ブレーキパッドの厚さを頻繁に
点検し、ブレーキパッドを早目
に交換してください。◀

スプリングプリロードおよび ショックアブソーバー



警告

オフロード走行用に変更したス
プリングプリロードとスプリン
グストラット減衰力の値

舗装路での走行特性の悪化

- オフロードを離れる前に、ス
プリングプリロードとスプリン
グストラット減衰力を正しく調整
してください。◀

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード
走行後に、ホイールリムが損傷
していないか点検することをお
勧めします。

エアフィルター



重要事項

エアフィルターエレメントの汚れ
エンジンの損傷

- 埃の多いオフロードで走行する
場合には、エアクリーナーの汚
れの点検を頻繁に行い、必要
に応じて清掃または交換しま
す。◀

非常に埃の多い条件下での走行
(砂漠や乾燥した草原など) にお
いては、専用に関連されたエア
フィルターの使用が必要です。

ギヤチェンジ

ーシフトアシストPro^{OE}装備

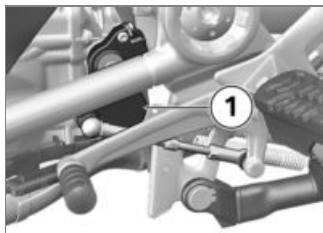
ギヤシフトアシストPro



注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用し
てギヤシフトを行う場合には、
安全上の理由から、クルーズコ

ントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギアのかみ合わせは、従来と同様に、シフトレバーにかかる踏力で行われます。
- » ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。
- オートマチックは関係がありません。

- ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。
- シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。
 - » 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。
- BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。
- レブリミッターの領域では、シフトアシストProの使用は避ける必要があります。
 - » 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
- クラッチが操作されている場合。
- シフトレバーが初期位置にない場合

- 減速時またはスロットルバタフライを閉じた状態（惰行）でのシフトアップ時。
- シフトアシストPro を使用してさらにギアチェンジを行えるようにするには、ギヤシフト後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。
 - » シフトアシストPro に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください：
 - » シフトアシストPro (▶ 121)

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント/リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS により回避されます。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかけるオーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の喪失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効が悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効が遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- － 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- － 洗車の後。
- － 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- － ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- － 汚れている路面や、オフロードの走行時。



警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効が悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れを取り、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro

－ 走行モード Pro^{OE} 装備

走行における物理的限界



警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro はEnduro PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に 100%のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどに

より、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。



注意事項

ABS Pro はバンク時の限界域における個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジン进行停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀



重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- ハンドルを左に回します。

- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

センタースタンド

- エンジンを停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀



重要事項

急な動きが加えられるとメイン(センター)スタンドが折りたたまれる

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター)スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀

- メイン(センター)スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費を得るため、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用するようにしてください。



重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。◀

- エタノールの割合が最大で10%、つまりE10燃料を使用することができます。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク)(最大10%エタノール、E10)

95 ROZ/RON

89 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラーガソリン(出力および燃費の制約。)(最大10%エタノール、E10)

91 ROZ/RON

87 AKI

- » 品質が不十分な場合は、仕様変更が必要です。それに合わせてモーターサイクルをBMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。

給油手順



警告

フューエルは簡単に引火します

火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀



重要事項

コンポーネントの損傷

燃料タンクの過注入によるコンポーネントの損傷

- 燃料タンクに注入し過ぎると、余分な燃料がチャコールフィルターに流入し、そこでコンポーネントの損傷に至ります。
- 燃料タンクへの注入はフィルターネックの下端までにしてください。◀

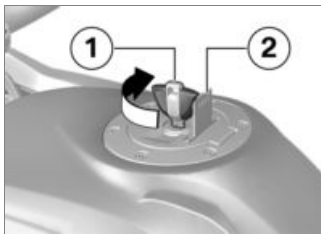


重要事項

プラスチック表面に燃料が付着

表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップを、車両キー **1** を時計回りに回してロック解除し、開きます。



- 燃料の補給はフィルターネックのアンダーエッジまで最大にしてください。



注意事項

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注意事項

テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容

量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエル容量
約 20 l
 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。



警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる
転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀



重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)
• プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。

– Keyless Ride^{OE} 装備

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 47)。



注意事項

イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀



タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

2 min

- » タンクキャップは、以下の**2 つの方法**で開くことができます：
- アフターランニング時間内。
 - アフターランニング時間の経過後。

バリエーション 1

－ Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション 2

－ Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注意事項

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注意事項

テクニカルデータ (仕様諸元) に記載されている「フューエル容

量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



フューエル容量

約 20 l



フューエルリザーブ容量

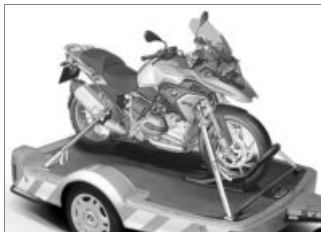
約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
- » タンクキャップが音とたててはまります。
- » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
- » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション

ON に伴い、ただちにロックがかかります。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップが取り付けられているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。

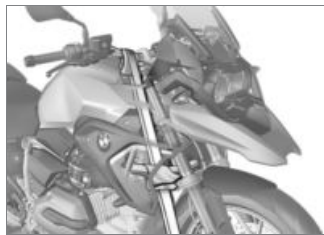


重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン(セクター)スタンドで立てないでください。



重要事項

コンポーネントの挟み込み
コンポーネントの損傷

- コンポーネント（ブレーキラインやケーブルなど）が挟み込まれないようにしてください。◀
- フロント側テンションストラップをハンドルの両側に取り付けて固定します。
- テンションストラップをトレーリングアームに通してピンと張ります。

ぎりしっかりと固定されるようにします。



- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレストのホルダーに取り付けてピンと張ります（左右）。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるか

技術情報

一般的な情報	112
アンチロックブレーキシステム (ABS)	112
オートマチックスタビリティコン 트롤(ASC)	115
ダイナミックトラクションコント ロール(DTC)	116
Dynamic ESA	117
走行モード	118
シフトアシスト	121
発進アシスタント	122

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

**bmw-motorrad.com/
technology**

アンチロックブレーキシステム(ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ABS 制御に伴い、ブレーキング中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォー

ス配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。



重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みる
リヤブレーキおよびクラッチの損傷

- バーンアウトを行わないこと。◀

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレー

キフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、再び路面に接触する際の走行安定性を確保するために ABS はブレーキ圧を低減する必要があります。この時、想定できるいかなる状況においてもホイールが回転し、それにより走行安定性が確保され

るよう、BMW Motorrad Integral ABS では摩擦係数を非常に低く見積もっています（砂利、凍結、積雪の場合）。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、減速が迅速な場合、状況によっては、BMW Motorrad Integral ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

**急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり
転倒の危険**

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたり、正常でない値が検知される場合、安全のためにABS機能が停止し、ABSの故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が原因となりエラーメッセージが表示される場合があります：

- － センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
- － エンジンブレーキにより長時間ロックされたリアホイール（滑りやすい路面での発進など）。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なドライビングスタイルは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング

ABS を装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABS からABS Pro への改良

－ 走行モードPro^{OE}装備

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、素早いブレーキ操作時におけるホイールのロックを回避します。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、

ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

オートマチックスタビリティコントロール(ASC)

ー 走行モードPro^{OE}非装備

ASCはどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASCは、フロントホイールとリアホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリアホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASCはどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASCは、ライダーおよび公道での走行に対するドライビングアシスタントシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASCの制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

オフロード走行時には、走行モードEnduroを作動させることを推奨します。このモードで

はASCによる制御介入が遅延して行われるため、コントロールされたドリフトが可能となります。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASCをOFFにできます。



警告

リスクな走行

ASC搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

ー 走行モードPro^{OE}装備

トラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？

トラクションコントロールには2つの特徴があります

- ー バンク角を考慮しない場合：オートマチックスタビリティコントロールASC
- ー ASCは、転倒を回避するための基本的な機能です。
- ー バンク角を考慮する場合：ダイナミックトラクションコントロールDTC
- ー DTCの制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、より精細かつ快適になります。

トラクションコントロールはフロントホイールとリヤホイールのホイール周速を比較します。

速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。



警告

リスクーな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクーな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、DTCではASCに対してバンク角が考慮されます。

ー 走行モードPro^{OE}装備

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTCがOFFになります。この場合には、DTCの不具合が表示されず。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的にOFFになる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- ー 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- ー フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。

ー補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

コーディングコネクタが装着されていない場合、故障後、イグニッション OFF / ON を行い、最低速度で走行すると、DTC は再び ON の状態になります。



DTC を ON にするため
の最低速度

min 10 km/h

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC または DTC が走行モード RAIN および ROAD でトルクを抑えます。

走行モード DYNA、DYNA PRO および Enduro では、フロントホイール浮き上がり検知により一

時的なウィリー走行が許可されます。

走行モード Enduro PRO では、フロントホイール浮き上がり検知は OFF になっています。

BMW Motorrad は、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転 / 走行状態に陥場合があります。このような状態では、BMW Motorrad DTC による補正を行うことはできません。

Dynamic ESA

ー Dynamic ESA^{OE} 装備

走行位置アライメント

電子調整式サスペンション Dynamic ESA は、モーターサイクルを自動で積載荷重に適合させることができます。スプリングプリロードを AUTO に設定すると、ライダーは積載荷重調整を行う必要はありません。

発進時および走行中には、システムはリアホイールのスプリングデフレクションをモニターし、正しい走行位置に調整されるようにスプリングプリロードを修正します。ショックアブソーバーは同様に自動で積載荷重に適合されます。

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的にキャリブレーションを行い、システムの正常な機能を確保します。

調整

ショックアブソーバーモード

- ROAD: 快適なオンロード走行用ショックアブソーバー
- DYNA: ダイナミックなオンロード走行用ショックアブソーバー
- ENDURO: オフロード走行用ショックアブソーバー

積載荷重設定

- AUTO: スプリングプリロードとショックアブソーバーの自動調整付きアクティブ走行位置アライメント
- MIN: 最小スプリングプリロード
- MAX: 最大スプリングプリロード (オフロード走行時)
- スプリングプリロード MIN と MAX をライダーが選択することは可能ですが、変更する

ことはできません。走行位置アライメントの機能は、MIN と MAX の設定では、作動しません。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態および希望する走行体験に合わせるため、以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN
- ROAD (標準モード)

- 走行モード Pro^{OE} 装備
- DYNA
- Enduro

コーディングコネクターを取り付けることにより、走行モード DYNA と Enduro は、走行モード DYNA PRO と Enduro PRO に変わります：

- Enduro PRO
- DYNA PRO

これらの走行モードにはそれぞれ、ABS、ASC / DTC システム用ならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

- Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA の調整も、選択されている走行モードに応じて異なります。

それぞれの走行モードで、ABS および / または ASC / DTC を OFF にできます。以下の説明は、走行安全システムがオンにされている場合に関するものです。

スロットルレスポンス

- 走行モード RAIN および Enduro: 控えめ
- 走行モード ROAD および Enduro PRO: ダイレクト

- 走行モードDYNA およびDYNA PRO: ダイナミック

ABS

- リアホイール浮き上がり検知は全走行モードで作動しています。
- 走行モードRAIN、ROAD、DYNA およびDYNA PRO では、ABS はオンロード走行に調整されています。
- 走行モードEnduro では、ABS はストリートタイヤを装着したオフロード走行に調整されています。
- 走行モードEnduro PRO では、ブレーキペダルが操作されると、リアホイールにABS コントロールがかかりません。ABS はオフロード走行でラグタイヤ装着に調整されています。

- 走行モードPro^{OE}装備
- 走行モードRAIN、ROAD、DYNA およびDYNA PRO では、ABS Pro をフルに利用することができます。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。

- 走行モードEnduro では、良好な摩擦係数比の場合のみABS Pro を使用することができます。サポートは走行モードROAD に対して低減され、代わりに最大のブレーキ作用に達するように設計されています。
- 走行モードEnduro PRO では、ABS Pro は使用できません。

- 走行モードPro^{OE}非装備

ASC

- フロントホイール浮き上がり検知は全走行モードで作動しています。
- ASC はオンロード走行用に調整されています。

- 走行モードROAD では、ASC は高い走行安定性を、走行モードRAIN では、最大の走行安定性を提供しています。

- 走行モードPro^{OE}装備

DTC

タイヤ取付け

- 走行モードRAIN、ROAD、DYNA およびDYNA PRO では、DTC はストリートタイヤを装着したオンロード走行に調整されています。
- 走行モードEnduro では、DTC はストリートタイヤを装着したオフロード走行に調整されています。
- 走行モードEnduro PRO では、DTC はラグタイヤを装着したオフロード走行に調整されています。

走行安定性

- 走行モードRAIN においてDTC は走行安定性が最

大に達するよう迅速に介入します。

- 走行モードROAD においてDTC の介入は走行モードRAIN よりも遅延して行われます。リアホイールの空転はできる限り回避されます。
- 走行モードRAIN およびROAD では、フロントホイールの浮き上がりは阻止されます。
- 走行モードDYNA およびDYNA PRO では、DTC の介入は走行モードROAD より遅く行われるため、コーナー出口での軽いドリフトおよび短時間のウィリー走行が可能です。
- 走行モードDYNA PRO では、DTC は、SETUP MODE を介して様々な設定をすることができます (▶▶ 66)。
- 走行モードENDURO では、DTC の介入は、コーナー出口での長いドリフトと一時的なウィリー走行も可能なように、さらに遅延して行われ、

オフロード走行に調整されています。

- 走行モードEnduro PRO では、DTC は、ラグタイヤを装着したオフロード走行をすることを想定してコントロールを行います。長いウィーリー走行も、小さな傾きを伴うウィーリー走行も行うことができます。フロントホイール浮き上がり検知は OFF になっています。極端なケースでは後方へひっくり返ることも可能なほどです!
- 走行モードEnduro PRO では、DTC は、SETUP MODE を介して様々な設定をすることができます (▶▶ 66)。

切替

走行中の走行モードの変更は、以下の前提条件においてのみ可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

この作動状態は、車両がイグニッション ON の状態のときのみです。またはその代わりに、以下のステップを実行する必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

シフトアシスト

ーシフトアシストPro^{OE}装備

シフトアシストPro

この車両には、本来レーシングスポーツにおいて開発され、ツーリング走行に適合されたシフトアシストProが装備されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- ー走行時における全シフト動作の70～80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- ーシフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- ー加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- ー減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状

態)の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。

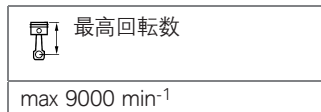
- ー切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアキュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。シフトアシストProを用いてギヤをシフトするためには、ギヤシフト前およびギヤシフト中にそれぞれの

負荷状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うギヤシフトでは、シフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

- ーシフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



シフトアップ

- ーシフトアップは、ターゲットギヤにおけるアイドル回転数

に達するまでサポートされます。

- それにより、アイドリング回転数を下回らないようにします。



アイドリング回転数

1150 min⁻¹ (エンジン作動温度時)

発進アシスタント

- Hill Start Control^{OE} 装備

発進アシスタント機能

発進アシスタント Hill Start Control は、パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムに標的に介入することにより、ライダーがブレーキレバーを持続的に押さなくても、制御不能の状態に登り坂を後退することを阻止します。Hill Start Control を ON にした時点でリアブレーキシステム内で圧力が生成されるた

め、坂道でもモーターサイクルが後退することはありません。

保持圧力の発進動作への影響

- 低ブレーキ圧で停車する場合は、わずかな保持圧力のみ生成されます。発進時のブレーキ開放が速くなります。よりゆるやかに発進する可能性があります。スロットルグリップをさらに緩めることはほとんど必要ありません。
- 高ブレーキ圧で停車する場合は、高い保持圧力が生成されます。発進時のブレーキ開放が幾分長くかかります。発進にはより多くのトルクが必要であり、スロットルグリップをさらに緩める必要があります。

車両が回転またはすべり落ちる場合の動作

- Hill Start Control 作動時に車両が動いた場合、ブレーキ圧が上昇します。
- リアホイールがすべり落ちると、おおよそ 1 m 進んだ先

でブレーキが再び開放されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止時のブレーキ開放

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止したり、サイドスタンドが展開している場合は、Hill Start Control は作動解除されます。

ライダーは、以下の動作を通して、インジケータ / 警告灯に加えて、Hill Start Control の作動解除に注意を払う必要があります:

ブレーキ警告が強く引かれること

- ブレーキが短時間開放され、その後すぐに再び作動する。
- その際、はっきりと感じられるほどの強い引きがある。
- ブレーキがゆっくりと開放される。
- 車両のブレーキがかかっている。

- ライダーは手動で車両のブレーキをかける必要がある。



注意事項

イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。◀

メインテナンス

一般的な情報	126
ツールキット	126
サービスツールキット	126
フロントホイールスタンド	127
エンジンオイル	128
ブレーキシステム	129
クラッチ	134
クーラント	134
タイヤ	136
リムとタイヤ	136
ホイール	137
エアフィルター	143
バルブ	145
始動補助	150
バッテリー	151

ヒューズ	155
診断コネクター	156

一般的な情報

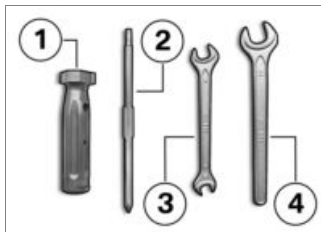
「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

メインテナンスおよび修理作業に関するその他のインフォメーションは、BMW Motorrad ディーラーで DVD を入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット

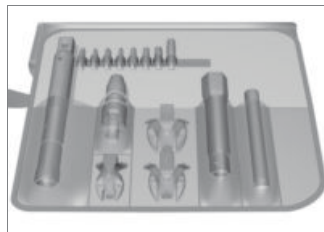


- 1 ドライバーグリップ
 - 六角レンチと共に使用
 - エンジンオイルを補充する (111 129)。
- 2 リバーシブルブレードドライバースクイーズ
 プラス溝 PH1 およびトルクス T25
 - フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (111 148)。
 - バッテリーカバーを取り外す (111 153)。
- 3 オープンエンドレンチ
 口径 8/10

- 3 - バッテリーを取り外す (111 153)。
- 4 オープンエンドレンチ
 口径 14
 - ミラーアームを調整する (111 86)。

サービスツールキット

- サービスツールセット OA 装備



さらに行われるサービス作業(ホイールの脱着など)のために、BMW Motorrad では、あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットをご用意しています。このツールキッ

トはBMW Motorrad ディーラー
でお求めいただけます。

フロントホイールスタンド

フロントホイールスタンドを 取り付けます



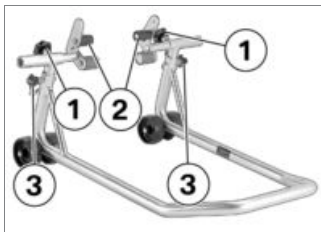
重要事項

追加のメイン(センター) スタ
ンドまたは補助スタンドなしで
のBMW Motorrad フロントホ
イールスタンドの使用

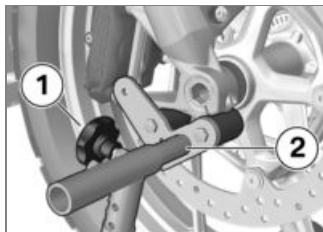
転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、
BMW Motorrad フロントホ
イールスタンドでリフトアップ
する前に、メイン(センター)
スタンドまたは補助スタンドで
立ててください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路
面に、モーターサイクルをメイ
ン(センター) スタンドで立て
ます。
- ベーススタンドを、フロントホ
イールサポートと共に使用しま

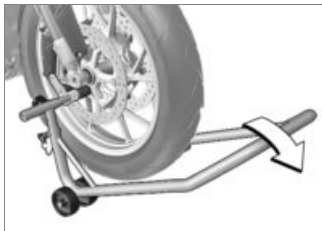
す。ベーススタンドおよびそ
の備品はBMW Motorrad ディー
ラーから入手できます。



- ボルト **1** を外す。
- 両方のサポート部 **2** を外側
へ押して、フロントサスペン
ションが間に収まるようにしま
す。
- フロントホイールスタンドを、
固定ピン **3** を使用してご希望
の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフ
ロントホイールのセンターに合
わせ、フロントアクスルに押し
込みます。



- 両方の支持部 **2** を、フロント
ホイールガイドが確実に取り付
けられるように調整します。
- ボルト **1** を締め付けます。



重要事項

モーターサイクルをリフトアップし過ぎるとメイン(センター)スタンドが外れる

転倒によるコンポーネントの損傷

- リフトアップの際には、メイン(センター)スタンドが常に接地しているように注意してください。◀
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

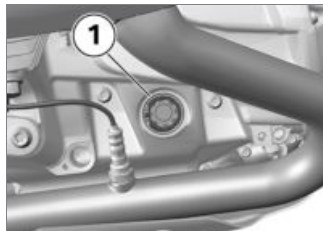


重要事項

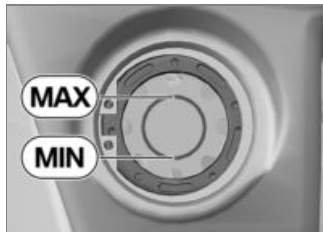
オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時のみ、行います。◀
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。



- オイルレベルを表示 1 で読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

MIN とMAX の間のマーク

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

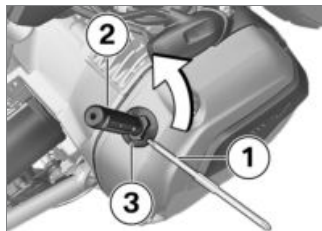
- エンジンオイルを補充する(129)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を容易にするため、リバーシブルブレードのドライバーインサート **1** を、トルクス側を前にして、ドライバーのグリップ **2** (ツールキット) に差し込みます。
- 前述のツールをオイル注入口のキャップ **3** の上にセットし、反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルレベルを点検する(128)。



重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。



エンジンオイル補充量

max 0.95 l (MIN と MAX 間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検する(128)。
- オイル注入口のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

• ブレーキペダルを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：



重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

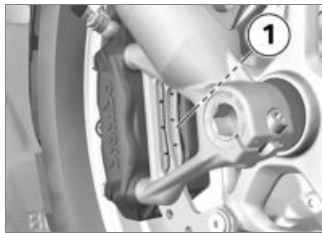
ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

• ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀

• BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検します

• 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



• 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンションの間を通して、ブレーキパッド **1** へ。



フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る

制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リヤブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：スプラッシュガードとリアホイールの間を通して、ブレーキパッド **1** へ。



 リヤブレーキパッドの
消耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)

摩耗限度に達している場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る

制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

- ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下
- 走行をすぐに調整して故障を解決します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
 - 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
 - ハンドルを直進位置にします。



- フロントブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードタンク内のブレーキフルードが少なすぎる

ブレーキシステム内のエアによるブレーキパワーの著しい低下

- 走行をすぐに調整して故障を解決します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。

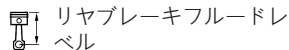


- リヤブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- 抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



注意

エンジンの過熱

火傷の危険

- 熱くなっているエンジンからは離れてください。
- 熱くなっているエンジンには触れないでください。◀
- リザーバータンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。



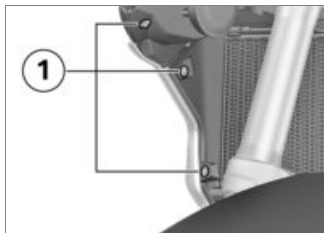
クーラント規定レベル

リザーバーの**MIN** と **MAX** のマークの間 (エンジンが冷たい状態)

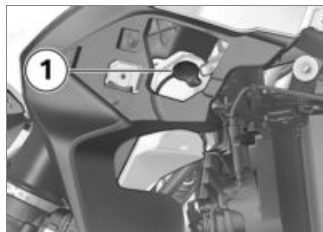
クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します(➡ 135)。

クーラントを補充します



- ボルト **1** を取り外します。



- キャップ **1** を開く。
- クーラントを規定レベルまで補充します。
- クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 134)。
- リザーバータンクのキャップを閉じます。



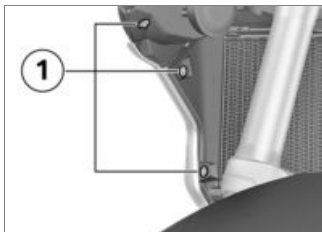
- ボルト **1** を取り外します。
- サイドトリムパネル **2** をクランプ **3** から引っ張り、取り外す。



- サイドトリムパネル **2** をスロット **4** に差し込みます。
- クランプ **3** をロックします。



- ボルト **1** を取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ充填圧 (フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ充填圧 (リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行

走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。



注意事項

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

スポークを点検する

ークロススポークホイール装備^{OE}

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークをこすり、その際の音色に注意します。

音色が不均一である場合：

- 専門の整備工場
(BMW Motorrad ディーラーが理想的) にスポークの点検を依頼してください。

ホイール

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

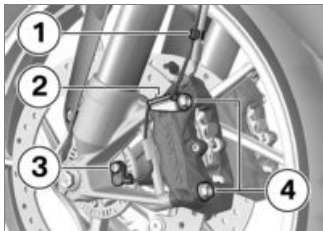
ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロール

ユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

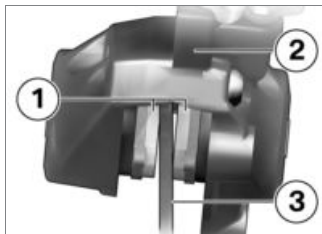


重要事項

ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

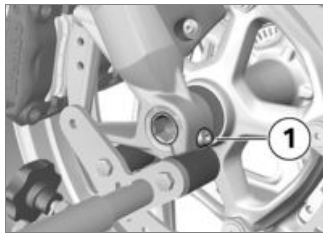
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



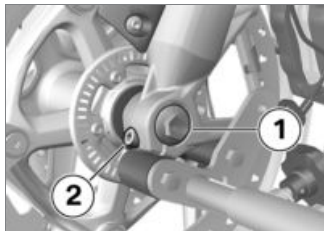
- ブレーキパッド **1** を、ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキディスク **3** に少し押しつけます。

- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。

- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(➡ 127)。



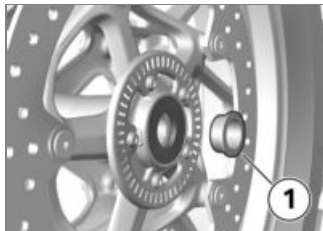
- 右側アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ボルト **1** を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

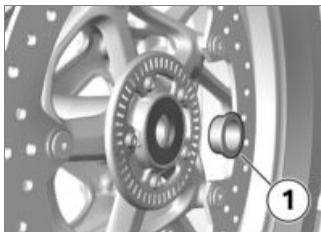


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



- ホイールハブ左側スペーサープッシュ 1 を取り付けます。



重要事項

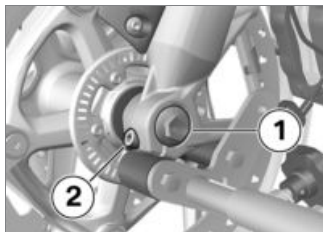
フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト 1 を取り付けます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(➡ 127)。



- ボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

 テレスコピックフォーク
内アクスルシャフト

30 Nm

- 左アクスルランプボルト **2** を規定トルクで締め付けます。

 テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固
定ボルト

19 Nm

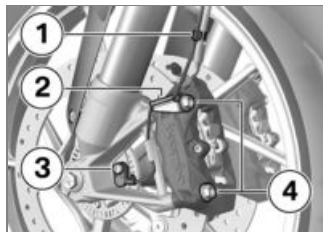


- 右アクスルランプボルト **1** を規定のトルクで締め付けます。

 テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固
定ボルト

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左右の固定ボルト **4** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 テレスコピックフォーク
のブレーキキャリパー

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。

⚠ 警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **3** を取り付けます。



ホイール回転数センサー
とフォーク

接合剤: マイクロカプセル付き

8 Nm

リヤホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- ギヤを 1 速に入れます。

⚠ 注意

高温のエキゾーストシステム

火傷の危険

- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。◀
- エンドマフラーを冷却します。



- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀



重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。



リヤホイールとホイールフランジ

締め付け順序: 対角の順に締め付ける

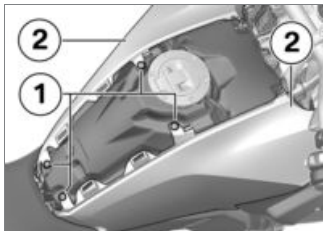
60 Nm

エアフィルター

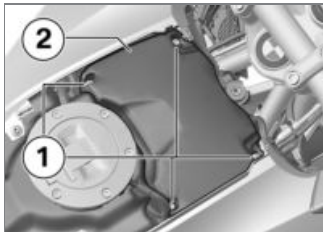
エアフィルターエレメントを交換する



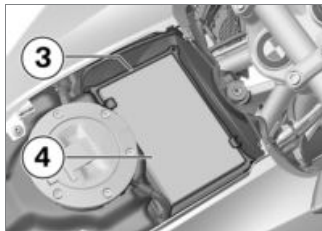
- フロントシートを取り外す(▶▶ 82)。
- ボルト **1** および **2** を取り外します。
- センターフェアリングを取り外します。



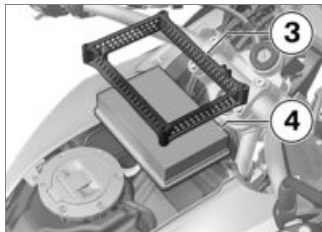
- ボルト **1** を取り外します。
- 両面のカバー **2** を外す。



- ボルト **1** を取り外します。
- エアフィルターカバー **2** を取り外す。

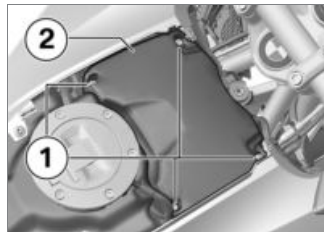


- フレーム **3** を取り外す。
- エアフィルターエレメント **4** を取り外す。

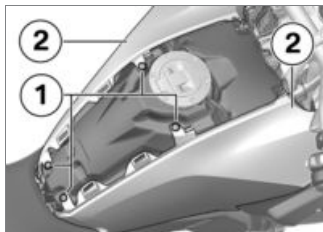


- エアフィルターエレメント **4** を清掃し、必要に応じて新品に交換します。

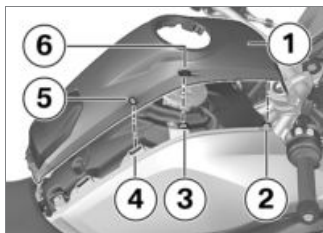
- エアフィルターエレメント **4** およびフレーム **3** をセットします。



- エアフィルターカバー **2** を取り付けます。
- ボルト **1** を取り付けます。



- 両面のカバー **2** を位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。



- センターフェアリング **1** をあてがいます。

- 左右クランプ **3** と **5** をホルダー **4** と **6** へ押し入れ、その際、ラッチ **2** に注意します。



- ボルト **1** および **2** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶ 83)。

バルブ

ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する



注意事項

コネクターやスプリングクランプおよびライトバルブの位置や

向きは、以下の図と異なる場合があります。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ロービームを交換します。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ハイビーム用バルブを交換します。



- コネクター **1** を外します。



- スプリングワイアホルダー **1** をロックから外し、横に折り曲げます。
- バルブ **2** を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ロービームのバルブ

H7 / 12 V / 55 W



ハイビーム用バルブ

H7 / 12 V / 55 W

- バルブを持つときには、ガラス面が汚れないように、必ずソケット部分を持ちます。



- 正しいノーズ **3** の位置に注意しながら、バルブ **2** をはめ込みます。

**注意事項**

白熱バルブの位置や向きは、図とは異なる場合があります。◀

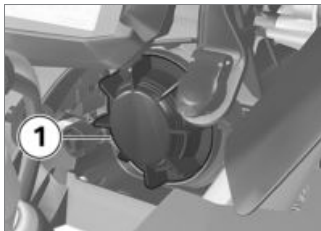
- スプリングワイアホルダー **1** をロックにセットします。



- コネクター **1** を接続します。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。

ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外します。



- ソケット **1** をヘッドライトハウジングから引き出します。



- バルブ **1** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。


 ポジションライト / パーキングライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。

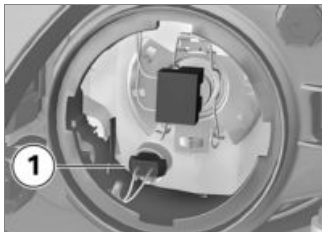


フロント / リヤのウインカー 用バルブを交換する

ー LED ウインカー非装備^{OE}

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

- バルブ **1** をソケットにセットします。



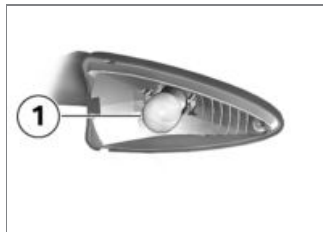
- ホルダー **1** をヘッドライトケースに取り付けます。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。



- レンズのボルト固定側をライトハウジングから引いて外します。



- ボルト **1** を取り外します。



- バルブ **1** を反時計回りに回してライトハウジングから取り外します。◁

- 故障しているバルブを交換します。

 フロントウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

－LED ウインカー装備^{OE}

LED<

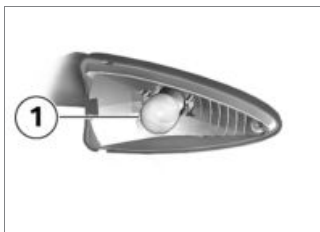
 リヤウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

－LED ウインカー装備^{OE}

LED<

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。



- レンズ(車両側) をライトハウジングにセットし、閉じます。



- ボルト **1** を取り付けます。

LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウインカーを交換する

－LED ウインカー装備^{OE}

- LED ウインカーはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

LED 補助ヘッドライトを交換する

ーLED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

LED 補助ヘッドライトは、アセンブリーでのみ交換可能です。LED を個別に交換することはできません。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

始動補助



注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触

感電

- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀



重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流 車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀



重要事項

ジャンパーコードのターミナル クランプと車両間の接触

ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

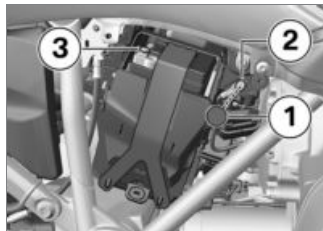


重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(▶ 153)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きます。
- ジャンパーコード (赤) を用いて、放電したバッテリーのバッテリープラスターミナル **2** を

供給側バッテリーのプラス極に接続します。

- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。



注意事項

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。◀

- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付ける(▶ 155)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。

- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。



重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する

過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀



注意事項

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用し

ない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する



重要事項

車両に接続されているバッテリーをバッテリーターミナルで充電
車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。◀



重要事項

電源ソケットまたは補助コネクタを使用して、完全に放電したバッテリーを充電する

車両電装系の損傷

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 < 9 V、イグニッション ON の状態でインジ

ケーターおよびマルチファンクションディスプレイが OFF のまま）は、常に、直接、**接続を外した** バッテリーのターミナルで充電してください。◀



重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャーチャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorrad ディーラーで入手することができます。◀
- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。



注意事項

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。



注意事項

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

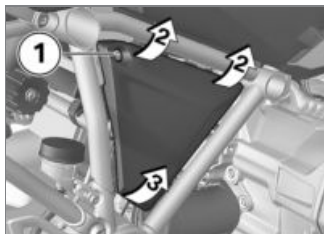
- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。



注意事項

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す

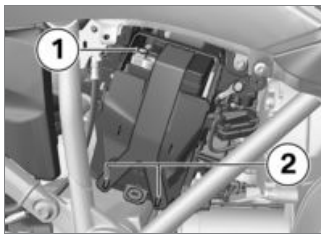


- イグニッションを OFF にします。
- ボルト **1** を取り外します。

- バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
- バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。

— 盗難警報装置 (DWA) 装備^{OE}

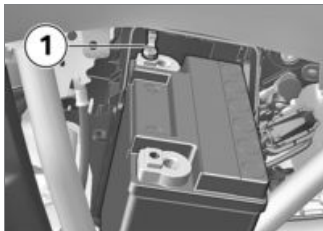
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。
- バッテリーをわずかに持ち上げて、プラス極に手が届くようになるまで止め具から取り外します。



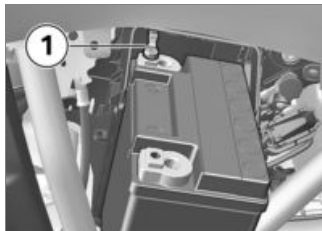
- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

バッテリーを取り付ける

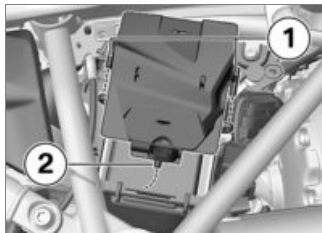


注意事項

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) のヒューズが溶断するおそれがあります。◀



- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。

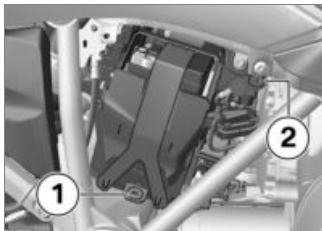


- ホールドプレートをまずホルダー **1** に組み込み、引き続き

ポジション **2** をバッテリーの下に押し込みます。



- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



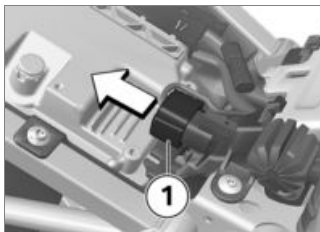
- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。



- ボルト **1** を取り付けます。
- 時計を調整する(▶▶▶ 56)。
- 日付設定(▶▶▶ 57)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 82)。
- コネクター **1** を外します。

重要事項

**故障しているヒューズのバイパス
ショートや火災の危険**

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀

- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

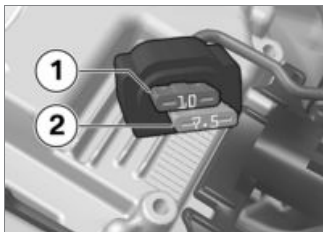


注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

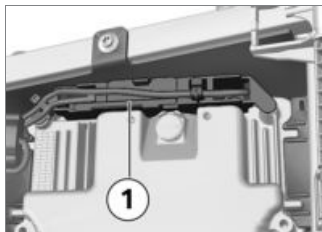
- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶▶ 83)。

ヒューズ割当て



- 1** 10 A
メーターパネル
盗難警報装置 (DWA)
イグニッションロック
診断ソケット
- 2** 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール (RDC)

オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) 用ヒューズ



- 1** 50 A
オルタネーターレギュレーター (電圧調整器)

診断コネクター

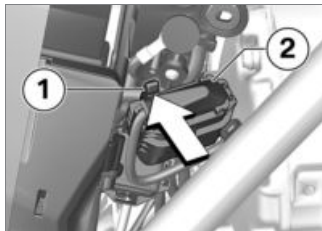
診断コネクターを外す



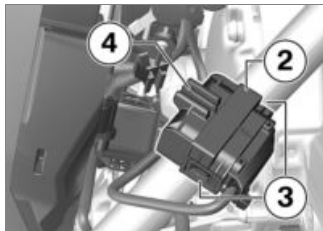
注意

オンボード診断用の診断コネクターを外す方法に誤り
車両の機能障害

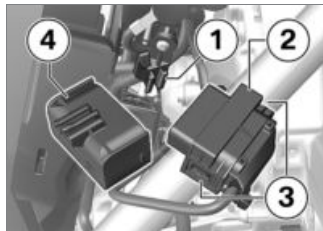
- 診断コネクターを外す場合は、必ずBMW Service の間に依頼するか、専門の整備工場またはその他の認定を受けた人物に依頼してください。
- 適切な教育を受けた人物に作業を依頼してください。
- 車両メーカーの規定を守ってください。◀
- バッテリーカバーを取り外す(▶ 153)。



- フック **1** を押し、診断コネクター **2** を上方へ引き出します。



- ロック **3** の両側を押します。
- 診断コネクタ **2** を止め具 **4** から外します。
 - » 診断および情報システム用インターフェースを診断コネクタ **2** に差し込むことができます。



- 診断コネクタ **2** を止め具 **4** に差し込みます。
 - » 両側でロック **3** がかみ合います。
- 止め具 **4** をホルダー **1** に差し込みます。



- フック **5** がロックしたか確認してください。
- バッテリーカバーを取り付ける (155)。

診断コネクタの固定

- 診断および情報システム用インターフェースを外します。

アクセサリ

一般的な情報	160
電源ソケット	160
ケース	161
トップケース	164
ナビゲーションシステム	171

一般的な情報

**注意**

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施さ

れています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

**[bmw-motorrad.com/
accessories](http://bmw-motorrad.com/accessories)**

電源ソケット

電装系機器の接続

- － 電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

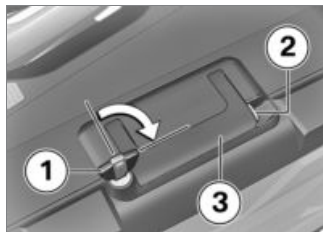
- － 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- － ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- － ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- － 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- － 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてから

ら 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグニッション OFF 後にしばらく経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を押し下げながら、ケースカバーを開きます。

ケース容量を調整する

- ケース ^{OA} 装備
- ケースを開き、空にします。

ケース

ケースを開きます

- ケース ^{OA} 装備



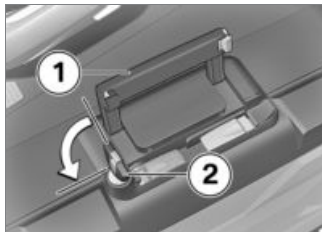
- スイングレバー **1** を上側終端位置にかみ合わせ、小さい方のボリュームになるようにします。
- 大きい方の容量にするため、スイングレバー **1** を下側終端位置にかみ合わせます。
- ケースを閉じます。

ケースを閉じる

ー ケース^{OA} 装備

- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ケースカバーを閉じます。

» カバーがはまる音が聞こえます。



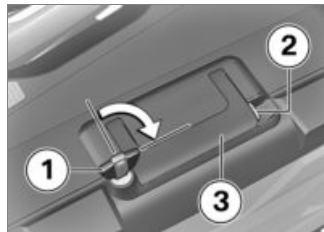
重要事項

**ロックされたケースロックによりキャリングハンドルが閉じる
ロックストラップの損傷**

- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

ケースを取り外します

ー ケース^{OA} 装備



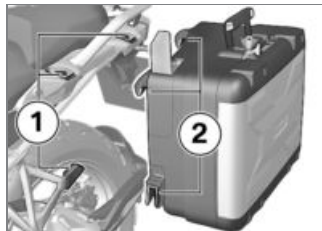
- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



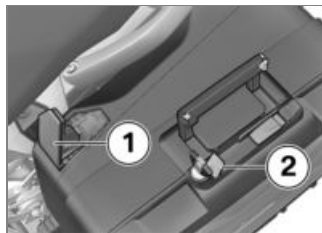
- ロック解除レバー (赤) 1 を引き上げます。
- » ロックフラップ 2 が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、ケースをホルダーから外します。



- ロック解除レバー (赤) 1 を引き上げます。
- » ロックフラップ 2 が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。



- ケースを上から止め具 1 および 2 に組み込みます。

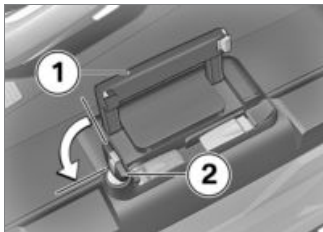


- ロックフラップ 1 をストップ位置まで下方向へ押します。

ケースを取り付けます

ー ケース^{OA} 装備

- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー **2** (赤) を同時に押し下げます。
- » ロックフラップがロックします。



重要事項

**ロックされたケースロックによりキャリングハンドルが閉じる
ロックストラップの損傷**

- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀

- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



パニアケースを装着している状態で走行する場合の最高速度

max 180 km/h



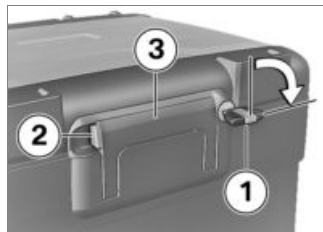
パニアケースごとの積載荷重

max 10 kg

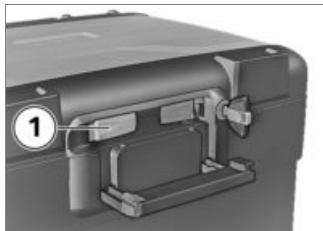
トップケース

トップケースを開きます

ー トップケース装備^{OA}



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を前方へ押しながら、トップケースを開きます。

トップケース容量を調整する

ー トップケース装備^{OA}

- トップケースを開き、空にします。

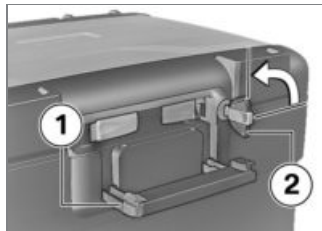


- 大きい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を前側終端位置にかみ合わせます。
- 小さい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を後ろ側終端位置にかみ合わせます。
- トップケースを閉じます。

トップケースを閉じる

ー トップケース装備^{OA}

- トップケーススリッドを強く押して閉じます。



重要事項

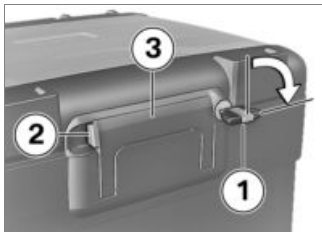
施錠されたケースロックにおけるキャリングハンドルの折りたたみ

ロックストラップの損傷

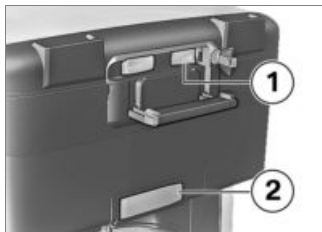
- キャリングハンドルを折りたたむ前に、トップケースロックが垂直に立っているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- » キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

トップケースを取り外す

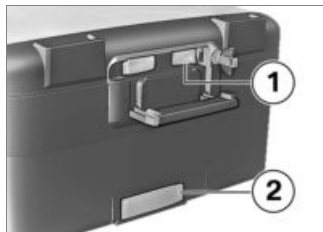
ー トップケース装備^{OA}



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



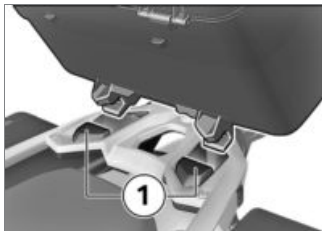
- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
します。
- ロックフラップを完全に開きま
す。
- キャリングハンドルを持って、
トップケースをホルダーから外
します。



- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
します。
- ロックフラップを完全に開きま
す。

トップケースを取り付ける

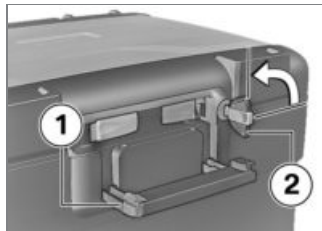
ー トップケース装備^{OA}



- トップケースをトップケースリテーニングプレートの前側ホルダー **1** に掛けます。
- トップケース後部をトップケースホールドプレートの上に押し付けます。



- ロックフラップ **1** をストップ位置まで前方向へ押します。
- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー **2** (赤) を同時に前方へ押します。
» ロックフラップがロックします。



重要事項

施錠されたケースロックにおけるキャリングハンドルの折りたたみ

ロックストラップの損傷

- キャリングハンドルを折りたたむ前に、トップケースロックが垂直に立っているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にトップケースを組み合わせた場合について注意ラベルに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



Vario トップケース積載
で走行時の最高車速

max 180 km/h



トップケースの積載荷重

max 5 kg

トップケースを取り付ける

ー トップケース 2 (大)、49 l 装備 ^{OA}



警告

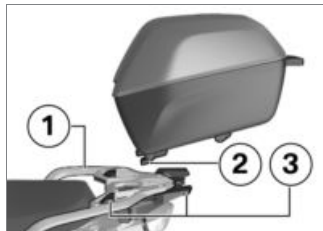
不適切に取り付けられているトップケース

走行安全性の低下

- トップケースにがたつきがあってはならず、遊びなしでしっかりと固定されていなければなりません。◀



- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。



- トップケースをラゲッジラック **1** に固定します。フック **2** が、ホルダー **3** に確実にかみ合っているか確認します。
- キャリングハンドルを、はまる音がするまで押し下げます。



トップケースを開きます

ー トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備^{OA}



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回し、引き抜きます。

 トップケース 2、ラージ、49L を装着した場合の最高車速

max 180 km/h

 トップケース 2、ラージ、49L の積載重量

max 5 kg

- 最高速度値および積載値を超過しないでください。



- ロックシリンダー **1** を前へ押します。
- » ロック解除レバー **2** が飛び出します。
- ロック解除レバーを完全に引き上げます。
- » トップケースカバーが開きます。

トップケースを閉じる

ー トップケース 2 (大)、49 ℓ 装備^{OA}

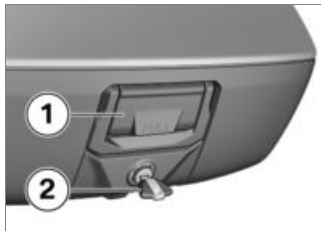


- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケースリッドを押したまま保持します。中身が挟まっていないか確認します。



注意事項

ロックがポジションLOCK にある場合、トップケースが閉じることもあります。この場合、車両キーがトップケースにあることを確認します。◀



- ロック解除レバー **1** を、しっかりととはまるまで押し下げます。
- トップケースロックに差し込んだキー **2** を **LOCK** 位置に回して引き抜きます。

トップケースを取り外す

ー トップケース 2 (大)、49 l 装備 ^{OA}



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。
» キャリングハンドルが飛び出します。



- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。

- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジロックから引いて外します。

ナビゲーションシステム

ーナビゲーションシステム用取付けキット装備^{OE}

ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける



注意事項

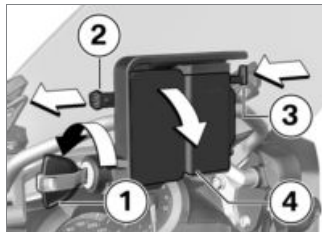
ナビゲーション取り付けキットは、BMW Motorrad Navigator IV および BMW Motorrad Navigator V に適合しています。◀



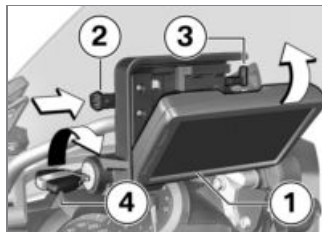
注意事項

Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を左方向へ引きまします。
- ロック **3** を圧入します。
- » Mount Cradle (マウントクレードル) はロック解除されており、カバー **4** を回転させて前方へ取り外すことができます。



- ナビゲーション装置 **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーション装置がはまる音が聞こえます。
- ヒューズ **2** を完全に右方向へずらしまします。
- » ロック **3** がロックしていまします。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
- » ナビゲーション装置がロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

ナビゲーション装置を取り外し、カバーを取り付ける

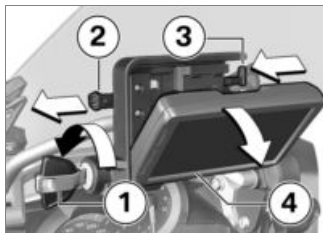


重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

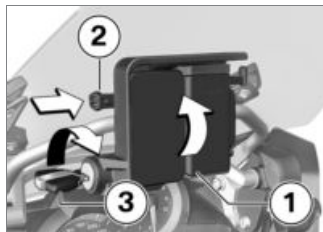
接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を完全に**左**方向へ引きます。
- » ロック **3** はロック解除されています。

- ロック **3** を完全に**左**方向へずらします。
- » ナビゲーション装置 **4** がロック解除されます。
- ナビゲーション装置 **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて上方向へ動かします。
- » カバーが音をたててはまります。
- ヒューズ **2** を**右**方向へずらします。

- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- » カバー **1** はロックされています。

ナビゲーションシステムを操作する



注意事項

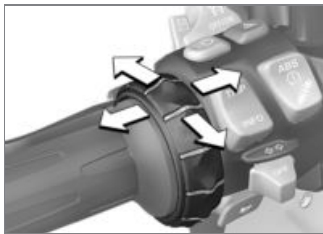
以下の説明はNavigator V に関するものです。Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀



注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられている場合、いくつかの機能はMulti-Controller を使用してハンドルバーから直接操作する事ができます。



Multi-Controller の操作は、6 つの動作でできます：

- － 上下に回す。
- － 左右に短押しします。
- － 左右に長押しします。

Multi-Controller を回すと、コンパスページおよびMedioplayer ページで、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニ

ケーションシステムの音量が上がります / 下がります。BMW スペシャルメニューで、Multi-Controller を回すことにより、メニュー項目を選択します。

Multi-Controller を左右に短押しすると、Navigator のメインページが切り替わります：

- － 地図表示部
- － コンパス
- － Medioplayer
- － BMW スペシャルメニュー
- － ご使用のモーターサイクルのページ

Multi-Controller を長押しするのは、Navigator ディスプレイで特定の機能を作動させるのと同じです。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。

 この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。

 この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- － 上方向へ回す： 地図表示部を拡大する (Zoom in)。
- － 下方向へ回す： 地図表示部を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ

- － 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- － 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- － ウェイポイント： 現在位置をお気に入りとして保存します。
- － ホーム： 自宅住所へのナビゲーションを開始します (自宅住所

が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。

- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します(接続されている電話があるときにのみ作動)。
- 迂回：迂回機能を ON にします(アクティブになっているルートがあるときにのみ作動)。
- ジャンプ：次のウェイポイントをジャンプします(そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動)。

ご使用のモーターサイクル

- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く押すことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。



注意事項

Mediaplayer 機能は、A2DP 規格に適合した Bluetooth 機器 (BMW Motorrad 通信システムなど) の使用時にのみ利用可能です。◀

Mediaplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニ

ケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

インジケータおよび警告メッセージ



モーターサイクルのインジケータおよび警告メッセージは、マップ表示の左上の該当するアイコン **1** で表示されます。



注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されません。



注意事項

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両から Navigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、メッセージの上をクリックすることにより、次のガソリンスタンドが表示されます。

クロックディスプレイと日付

クロックディスプレイと日付は、Navigator からモーターサイクルに伝送されます。このデータのメーターパネルへの伝送は、メーターパネルのSETUP メニューで作動します。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4 桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の

間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator がこの車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になります。これで PIN 入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、安全上の理由から PIN の確認が開始されます。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。マニュアル入力は必要ありません。

自動設定は、ご希望に応じ、Navigator 内のディスプレイ設

定で OFF にすることができます。

お手入れ

ケア用品.....	178
洗車	178
損傷しやすい車両部品のお手入れ.....	179
塗装のお手入れ.....	180
保護コーティング	180
長期保管.....	180
再使用	181

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、材質適合性テストおよび研究機関による製品テストや実用試験が行われており、車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。



警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド
ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレー

キがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀



重要事項

温水による塩の作用の増大

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀



重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

**注意事項**

アルミニウム製ケースおよびトップケースには表面被覆がありません。美しい外観を保つには、以下のお手入れを行ってください：

散布用塩や腐食性の付着物は、走行終了後ただちに、冷水を使用して取り除いてください。◀

**損傷しやすい車両部品のお手入れ
プラスチック****重要事項****不適切な洗剤の使用**

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部

フェアリング部は、水とBMW プラスチックケア製品とを使用して清掃してください。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

**注意事項**

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀



水とスポンジのみを使用した洗浄。



化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。例えば、水圧をわずかにして、ホースを使用してください。

**重要事項**

**ラジエタープレートを折り曲げる
ラジエタープレートの損傷**

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。◀

ラバー部品

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。



重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれ

があります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これらには、BMW ポリッシャーまたは BMW 塗装クリーナーの使用をお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

水滴が水玉にならなくなったら、塗装の防錆処理をしなければなりません。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングには、BMW ワッ

クス、またはカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤をお勧めします。

長期保管

- 洗車を行います。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(▶ 153)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン(センター)スタンド、サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- むき出しの部品とクロームメッキ部品に非酸性のグリース(ワセリン)で防錆処理を施します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できれば BMW Motorrad が提

供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車を行います。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 154)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 95)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	184
ネジ止め部	185
燃料	187
エンジンオイル	188
エンジン	188
クラッチ	189
ギヤボックス	190
リヤホイールドライブ	191
フレーム	191
シャシー	192
ブレーキ	194
ホイールとタイヤ	195
電装システム	196
盗難警報装置	197
寸法	198

重量	200
性能	201

トラブルシューティング

エンジンが始動しない。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	サイドスタンドを格納します。 ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油手順 (105)。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電する (152)。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約 1 分間冷却します。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォーク内アクスルシャフト		
M12 x 20	30 Nm	
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト		
M8 x 35	19 Nm	
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
ホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16 マイクロカプセル付き	8 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	締付け順序: 対角の順に締め付ける	
	60 Nm	

ミラー		数値	有効
ミラー(ロックナット) とアダプター			
M10 x 1.25		左ねじ、22 Nm	
アダプターとクランプ台			
M10 x 14 - 4.8		25 Nm	
ハンドルバー		数値	有効
クランプ台 (ハンドルバークランプ) とフォークブリッジ			
M8 x 35		締付け順序: 進行方向の前のブロックで締め付けます	
		19 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。)(最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 20 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
排ガス基準	ユーロ 4

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、添加剤 (例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。
エンジンオイル補充量	max 0.95 l、MIN とMAX 間の偏差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	122EN
エンジン型式	エア冷却 / 液体冷却 2 シリンダー 4 ストローク ボクサーエンジン、上部にあるスパーギア駆動の二つのカムシャフトおよび一つのバランスシャフト 装備
排気量	1170 cm ³
シリンダーボア	101 mm

ピストンストローク	73 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	92 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
ー 出力減少装備 ^{OE}	79 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
最大トルク	125 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
ー 出力減少装備 ^{OE}	122 Nm、エンジン回転数: 5250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1150 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6 速トランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックスインプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1 速 1.714 (36:21 丁)、2 速 1.296 (35:27 丁)、3 速 1.059 (36:34 丁)、4 速 0.943 (33:35 丁)、5 速 0.848 (28:33 丁)、6 速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.91 (32/11 ノッチ)

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

シャシー

フロントホイール

フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、上部フォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをモーターおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフレームに支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル (フロント)	190 mm、ホイールで
- スタイル 1 ^{OE} 装備	210 mm、ホイールで
- スポーツスプリング ^{OE} 装備	
- ローダウン装備 ^{OE}	158 mm、ホイールで

リヤホイール	
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
－ Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー、電気調整式スプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	200 mm
－ スタイル 1 ^{OE} 装備	220 mm
－ スポーツスプリング ^{OE} 装備	
－ ロードダウン装備 ^{OE}	170 mm

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	ラジアルマウント 4 ピストンモノブロックキャリパーを装着した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	約 1.85 mm、ピストンのところで

リヤホイール

リヤブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	焼結合金
ブレーキペダルのブローバイクリアランス	1...1.5 mm、フレームとブレーキペダルの間

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の認可タイヤの概要については、BMW Motorrad ディーラーまたはインターネット bmw-motorrad.com で見るすることができます。
タイヤ速度カテゴリー (フロント / リヤ)	V、少なくとも下記の値以上が必要: 240 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール装備 ^{OE}	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.00" x 19"
タイヤサイズ (フロント)	120/70 R 19
タイヤ荷重指数 (フロント)	min 60
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール装備 ^{OE}	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50" x 17"
タイヤサイズ (リヤ)	170/60 R 17
タイヤ荷重指数 (リヤ)	min 72
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット (合計)
ヒューズホルダー 1	10 A、スロット 1: メーターパネル、盗難防止装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット 7.5 A、スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧モニター (RDC)
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: 電圧レギュレーター

バッテリー

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8D-J
スパークプラグの電極ギャップ	0.8±0.1 mm、新品時の状態 1.0 mm、摩耗限度

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
－LED ウインカー装備 ^{OE}	LED
リヤウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
－LED ウインカー装備 ^{OE}	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2207 mm、スプラッシュガードを含む
全高	1430...1490 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備	1312...1372 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備 - スポーツスプリング ^{OE} 装備	1332...1392 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- スタイル 1 ^{OE} 装備 - スポーツスプリング ^{OE} 装備 - タンデムパッケージ ^{OE} 装備	1450...1510 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
- ローダウン装備 ^{OE}	1405...1465 mm、ウインドシールドを含む、下の位置、DIN 空車時
全幅	952 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- コンフォートシート ^{OE} 装備	825...845 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ハイコンフォートシート ^{OE} 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- フロントローシート装備 ^{OE}	820...840 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1 ^{OE} 装備	860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1 ^{OE} 装備 - エクストラハイシート ^{OE} 装備	880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

- スタイル 1^{OE} 装備 - タンデムパッケージ^{OE} 装備	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備	880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備 - エクストラハイシート^{OE} 装備	900 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - スポーツスプリング^{OE} 装備 - タンデムパッケージ^{OE} 装備	870...890 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ロードダウン装備^{OE}	800...820 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
ライダーステップアーチレングス	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- コンフォートシート^{OE} 装備	1880...1900 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ハイコンフォートシート^{OE} 装備	1920...1940 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- フロントローシート装備^{OE}	1820...1860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備	1880 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - エクストラハイシート^{OE} 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- スタイル 1^{OE} 装備 - タンデムパッケージ^{OE} 装備	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

－スタイル 1 ^{OE} 装備 －スポーツスプリング ^{OE} 装備	1920 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
－スタイル 1 ^{OE} 装備 －スポーツスプリング ^{OE} 装備 －エクストラハイシート ^{OE} 装備	1960 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
－スタイル 1 ^{OE} 装備 －スポーツスプリング ^{OE} 装備 －タンデムパッケージ ^{OE} 装備	1910...1950 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
－ロードダウン装備 ^{OE}	1790...1830 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

空車重量	244 kg、車両重量 (走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備)
許容総重量	460 kg
最大積載荷重	216 kg

性能

最高速度

>200 km/h

11

201

サービス

リサイクリング	204
BMW Motorrad サービス	205
BMW Motorrad モバイルサービス	206
メンテナンス作業	206
BMW サービス	206
メンテナンススケジュール	209
メンテナンスの確認	210
サービスの確認	224

リサイクリング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

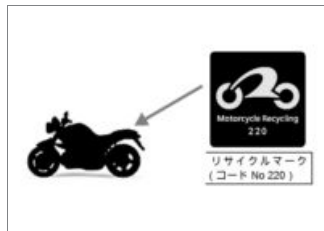
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および

指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財) 自動車リサイクル促進センター内

- ー 二輪車リサイクルコールセンター
- ー 電話番号 03-3598-8075
- ー 受付時間 9 時 30 分～ 17 時 00 分(土日祝日、年末年始等を除く)
- ー インターネット: www.jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 カ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄りのBMW Motorrad ディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます：

bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが絶対的な必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、登録

日の約1カ月前または登録距離の約1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

[illegible]

メインテナンススケジュール

- 1 BMW 慣らし運転(オイル交換を含む)
 - 2 BMW サービス標準範囲
 - 3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
 - 4 ベベルギヤのオイル交換
 - 5 バルブクリアランスを点検する
 - 6 すべてのスパークプラグを交換する
 - 7 エアフィルターエレメントを交換する
 - 8 エアクリーナーを点検または交換する
 - 9 システム全体のブレーキフルードを交換する
- a 1 年に 1 回または
10000 km ごと(どちらか
先に該当したもの)
- b 2 年に 1 回または
20000 km ごと(どちらか
先に該当したもの)

- c オフロード走行の場合、1 年に 1 回または
10000 km ごと(どちらか
先に該当したもの)
- d 初回は 1 年後、その後は
2 年ごと

メンテナンスの確認

BMW Service 標準範囲

以下は、BMW Service 標準範囲の活動が記載されています。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して、車両テストを実施する
- 油圧式クラッチシステムの目視点検
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続箇所の目視点検を行う
- フロントブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗の有無を点検する
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リヤブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗の有無を点検する
- リヤブレーキフルードレベルを点検する
- クーラントレベルを点検する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- センタースタンドがスムーズに動くか点検する
- タイヤトレッド溝の深さおよびタイヤ充填圧を点検する
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直す
- ライトおよび信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- サービス時期およびサービス用残余走行距離を設定する
- バッテリーの充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認します

BMW 納車前点検

実施済み

日付_____

押印、署名**BMW 初回点検**

実施済み

日付_____

距離 km_____

次回サービス

最長期限

日付_____

または最短

距離 km_____

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐ ☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐ ☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアクリーナーエレメント交換

☐ ☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

☐☐

エンジンオイルおよびフィルターの交換

☐☐

リヤベベルギヤ内のオイル交換

☐☐

バルブクリアランスの点検

☐☐

全スパークプラグ交換

☐☐

エアクリーナーエレメント交換

☐☐

エアクリーナーの点検および交換（メンテナンス時）

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

注意

押印、署名

この表は、メンテナンス作業、修理作業、取り付けられた特別付属品、および実施された特別活動の確認のために利用できます。

[illegible]

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証	228
キーレスエントリー用認証	230

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1.9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

A**ABS**

技術情報, 112
自己診断, 96
操作する, 60
操作部, 15
表示, 36

ASC

OFF にする, 62
ON にする, 62
技術情報, 115
自己診断, 97
操作する, 62
操作部, 15
表示, 36

D**DTC**

OFF にする, 63
ON にする, 63
インジケータ / 警告灯, 37
技術情報, 116
自己診断, 98
操作する, 63

E**ESA**

操作する, 64
操作部, 15

H

Hill Start Control, 76, 122
インジケータ / 警告灯, 40
技術情報, 122
作動できない, 40
操作する, 76

K**Keyless Ride**

イグニッションを OFF にする, 47
イグニッションを ON にする, 47
警告表示, 31
ステアリングロックをロックする, 46
タンクキャップをロック解除する, 106, 107

電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 48
無線キーのバッテリーが空になっているまたは無線キーの紛失, 48

P

Pre-Ride-Check, 96

R

Rider's Manual
車両における位置, 14

あ

アクセサリ
一般的な情報, 160
安全に関する注意事項
ブレーキ, 101
ライディングにあたって, 92

い

イグニッション
OFF にする, 45
ON にする, 44
イグニッションキルスイッチ, 17
操作する, 50

インジケーター / 警告灯, 18
全体図, 20

う

ウインカー
操作する, 53
操作部, 15
操作部(右側), 17
ウインドシールド
調整エレメント, 13
調整する, 87

え

エアクリナー
アクセサリ交換, 143
車両内の位置, 13

エンジン

エンジンコントロール警告表示, 34
エンジンマネジメントシステム
警告表示, 33
始動, 95
テクニカルデータ, 188

エンジンオイル
エンジンオイルレベル警告表示, 32
オイルレベル注意, 32
充填レベルを点検する, 128
注入口, 13
テクニカルデータ, 188
フルードレベル表示, 13
補充する, 129
エンジン回転数表示, 18
エンジン始動ロック
警告表示, 30
スペアキー, 45, 48

お

オドメーターとトリップメーター
リセットする, 55
オフロード走行, 99

か

外気温度
表示, 30
路面凍結警告, 30
型式プレート
車両における位置, 13

き

キー, 44, 46
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 41
ギヤボックス
テクニカルデータ, 190
給油, 105
Keyless Ride 装備, 106, 107

く

クーラント
異常高温用警告表示, 33
充填レベルを点検する, 134
補充する, 135
クラッチ
機能を点検する, 134
テクニカルデータ, 189
ハンドルレバーを調整する, 87
グリップヒーター
操作する, 80
操作部, 17
クルーズコントロール
操作する, 74

け

警告灯, 18
全体図, 20
警告表示
ABS, 36
ASC, 36
DTC, 37
Hill Start Control, 40
イモビライザー, 30
エンジンオイルレベル, 32
エンジンコントロール, 34
エンジン電装, 33
ギアが学習されていない, 41
車両電装システム電圧, 31
全体図, 23
盗難警報装置, 35
表示, 24
フューエルリザーブ容量, 39
ライトバルブの故障, 34
冷却水温警告灯, 33
路面凍結警告, 30
警告表示一覧, 25
ケース, 161

こ

コンビネーションスイッチ
左側面, 15
右側面, 17

さ

サービス, 205
サービス表示, 42
サスペンション
テクニカルデータ, 192

し

シート
シート高さの調整, 82
高さ調整の位置, 14
脱着する, 81
ロッキングハンドル, 11
始動, 95
操作部, 17
始動補助, 150
シフトアシスト
ギアが学習されていない, 41
技術情報, 121
走行, 100
車両
再使用する, 181

車両識別番号
車両における位置, 13
車両電装システム電圧
警告表示, 31
重量
積載荷重一覧, 14
テクニカルデータ, 200
仕様(諸元)
エンジン, 188
エンジンオイル, 188
規格, 7
ギヤボックス, 190
クラッチ, 189
サスペンション, 192
重量, 200
スパークプラグ, 196
寸法, 198
性能, 201
電装システム, 196
盗難警報装置, 197
燃料, 187
バッテリー, 196
バルブ, 197
ブレーキ, 194
フレーム, 191

ホイールとタイヤ, 195
リヤホイールドライブ, 191
ショックアブソーバー
調整エレメント(リヤ), 11
診断コネクター
固定する, 157
緩める, 156

す

ステアリングロック
ロックする, 44
スパークプラグ
仕様(諸元), 196
スピードメーター, 18
スプリングプリロード
調整エレメント(リヤ), 13
調整する, 88
寸法
テクニカルデータ, 198

せ

性能
仕様(諸元), 201
全体図
インジケーター / 警告灯, 20
警告アイコン, 23

シート下, 14
左コンビネーションスイッチ, 15
左側面図, 11
マルチファンクションディスプレイ, 22
右コンビネーションスイッチ, 17
右側面図, 13
メーターパネル, 18

そ

走行モード
技術情報, 118
走行モードPRO を設定する, 68
操作部, 17
調整する, 66
装備, 7

た

タイヤ
最高速度, 93
充填圧, 196
充填圧表, 14
タイヤ空気圧を点検する, 136
テクニカルデータ, 195

トレッドの溝の深さを点検する, 136
慣らし走行, 99

ち

チェックリスト, 95
駐車, 103

つ

ツールキット
車両における位置, 14

て

デイルイト
車両における位置, 11
電源ソケット
車両における位置, 13
使用上の注意, 160
電装システム
テクニカルデータ, 196

と

盗難警報装置
警告表示, 35
操作する, 77
テクニカルデータ, 197
表示灯, 18

時計

調整する, 56

トップケース

操作する, 164

トラクションコントロール

ASC, 115

DTC, 116

トラブルシューティング, 184

トルク, 185

な

慣らし走行, 98

に**荷物**

積載に関する注意, 92

ね

ネジ止め部, 185

燃料

Keyless Ride 装備の場合の給油, 106, 107

給油する, 105

注入口, 11

テクニカルデータ, 187

リザーブ容量, 39

は

パーキングライト, 51

ハザードランプ

操作する, 52

操作部, 15, 17

バッテリー

仕様(諸元), 196

接続しているバッテリーを充電する, 152

取り付ける, 154

取り外す, 153

外したバッテリーを充電する, 152

ボードエレクトリック電源電圧に関する警告表示, 31

メンテナンスに関する注意, 151

バルブ

LED テールライトを交換する, 149

LED 補助ヘッドライトを交換する, 150

ウインカー, 148

仕様(諸元), 197

パーキングライト, 147

ハイビーム, 145

バルブの不具合に関する警告表示, 34

ロービーム, 145

ハンドルバー

調整する, 88

ひ**ヒューズ**

交換する, 155

ふ

フォローミーホームライト, 44, 51

フューエルリザーブ容量
警告表示, 39

ブレーキ

ABS Pro の詳細, 114

ABS Pro は走行モードに対応, 102

安全に関する注意事項, 101

機能を点検する, 129

テクニカルデータ, 194

ハンドルレバーを調整する, 88

ブレーキパッド
慣らし走行, 99
フロントを点検する, 130
リヤを点検する, 131
ブレーキフルード
フロント充填レベルを点検する, 132
フロントリザーバタンク, 13
リヤ充填レベルを点検する, 133
リヤリザーバタンク, 13
フレーム
テクニカルデータ, 191
フロントホイールスタンド
取り付ける, 127
へ
平均値
リセットする, 55
ヘッドライト
光軸, 86
光軸の調整, 11
ほ
ホイール
サイズ変更, 137
スポークを点検する, 137

テクニカルデータ, 195
フロントホイールを取り付ける, 140
フロントホイールを取り外す, 137
ホイールリムを点検する, 136
リヤホイールを取り付ける, 143
ホーン, 15
本書の記述について, 7

ま
マルチファンクションディスプレイ, 18
全体図, 22
操作する, 53, 54
操作部, 15
表示を選択する, 53

み
ミラー
調整する, 86

め
メンテナンス
一般的な情報, 126
メンテナンススケジュール, 209
メンテナンススケジュール, 206
メーターパネル
周囲輝度センサー, 18
全体図, 18
メンテナンスの確認, 210

も
モーターサイクル
お手入れ, 177
固定する, 108
清掃する, 177
駐車, 103
長期保管, 180
モバイルサービス, 206

ら
ライト
操作部, 15
デイライト, 50
パーキングライト, 50

ハイビームヘッドライトを操作する, 51

パッシングライトを操作する, 51

フォローミーホームライト, 51

補助ヘッドライトを操作する, 52

ロービーム, 50

リ

リサイクリング, 204

リモートコントロール
バッテリー交換, 49

リヤホイールドライブ
テクニカルデータ, 191

ろ

ローダウンサスペンション
制限, 92

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2017 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

